SONY

▼クリック！

Cyber-shot

サイバーショット ハンドブック

DSC-G1

本書では、Cyber-shotの楽しみかたを紹介しています。
「取扱説明書」もあわせてお読みください。

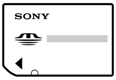
2-898-081-02 (1) JP

操作前のご注意

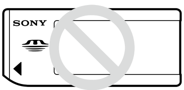
本機で使用できる“メモリースティック”（別売）

本機で使用するIC記録メディアは“メモリースティック デュオ”（“Memory Stick Duo”）です。“メモリースティック”のサイズには2種類あります。

“メモリースティック デュオ”：本機で使用可能です。



“メモリースティック”：本機では使用できません。

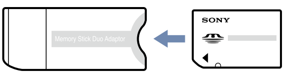


その他のメモリーカードは使用できません。

- “メモリースティック デュオ”について詳しくは、122ページをご覧ください。

“メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器で使用する場合

メモリースティック デュオ アダプター（別売）に入れると使用可能です。



メモリースティック デュオ アダプター

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについてのご注意

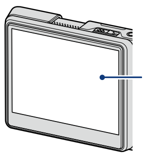
- 初めてお使いになるときは、バッテリー（付属）を必ず充電してください。
- バッテリーを使い切らない状態でも充電できます。また充電が完了しなくても途中まで充電した容量分はお使いいただけます。
- バッテリーを長持ちさせるために、長時間使用しない場合は、本機で使い切った後、バッテリーを取りはずして湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- バッテリーについて詳しくは、124ページをご覧ください。

カール ツァイスレンズ搭載

本機はカール ツァイスレンズを搭載し、シャープで、コントラストが良い画像を作り出すことを可能にしました。本機用に生産されたレンズは、ドイツ カール ツァイスの品質基準に基づき、カール ツァイスによって認定された品質保証システムにより生産されています。

液晶画面およびレンズについてのご注意

- 液晶画面は有効画素99.99%以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、白や赤、青、緑の点が消えないことがあります。これは故障ではありません。これらの点は記録されません。



黒、白、赤、青、緑の点

- 液晶画面やレンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 液晶画面を強く押さないでください。画面にムラが出たり、液晶画面の故障の原因になります。
- 寒い場所で使うと、画像が尾を引いて見えることがありますが、故障ではありません。
- 本機のレンズ部をぶつけたり、無理な力をかけないようご注意ください。

本書中の画像について

画像の例として本書に記載している写真はイメージです。本機を使って撮影したものではありません。

目次

基本操作

撮影時の機能を使う

再生時の機能を使う

設定を変更する

テレビで見る

パソコンで楽しむ

ネットワーク機能を使う

静止画をプリントする

音楽を聞く

困ったときは

その他

用語の解説/索引

本機の基礎知識

撮影

本機は約2GBの内蔵メモリーがあり、多くの画像を記録させておくことが可能です。
また、"メモリースティック デュオ"（別売）に記録することも可能です。



記録先を内蔵メモリーに
本機で設定した画像サイズのオリジナル画像と小サイズ（VGA）のアルバム画像が内蔵メモリーに記録されます。

記録先を"メモリースティック デュオ"に
本機で設定した画像サイズのオリジナル画像が"メモリースティック デュオ"に記録され、小サイズ（VGA）のアルバム画像が内蔵メモリーに記録されます。

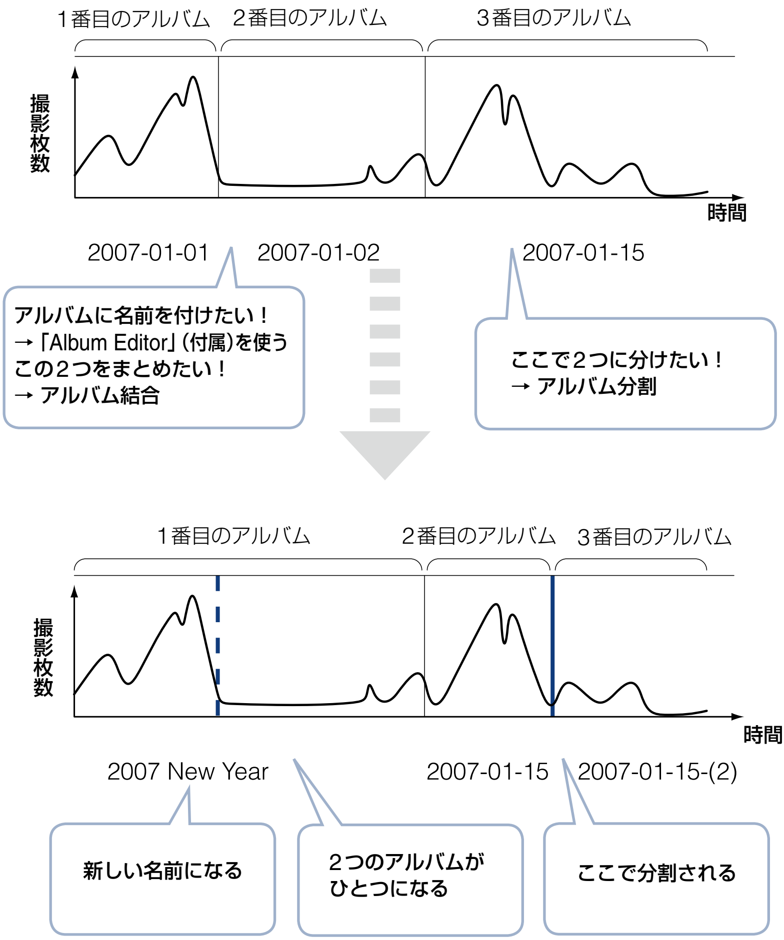


- アルバム画像はサイズが小さいため、多くの画像を本機に保存しておくことができます。過去に撮った画像を、あとで見たいときなどに便利です。アルバム画像は、必ず記録されます。
- 動画の場合は、最初のシーンがアルバム画像として静止画で記録されます。

おまかせ管理

本機は撮影間隔と頻度から自動的に「アルバム」単位に写真を分類し、画像をアルバム単位で検索することができ、便利です。
アルバムは自動的に作られますが、後で分割したり結合したりすることができます。

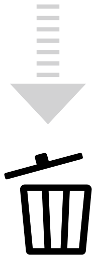
＜例＞



削除



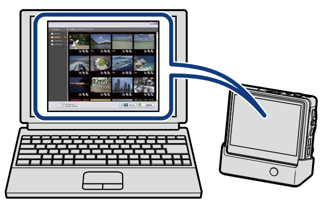
削除するときにオリジナル画像だけか、アルバム画像も一緒に削除するか選択できます。



パソコンで活用

本機だけでもいろいろな検索機能が楽しめますが、付属のCD-ROMにあるソフトウェアを使うことで、さらに高度な検索機能が使えるようになります。

「Album Editor」を使ってできること
- ラベルやコメントの編集
- パソコン上にある画像をアルバムとして本機にコピー
- 本機にMPEG4動画の転送をする
- 本機のデータをバックアップしておき、その時点のデータに復元する（リストア）

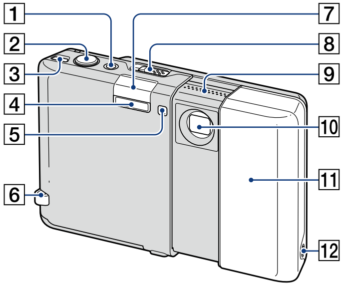


本機でさらに多くの画像が見やすくなり、楽しめる！

各部の名前

カッコ内の数字はページ数。

カメラ



1 POWERランプ/POWERボタン

2 シャッターボタン（18）

3 WLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタン（94）

4 フラッシュ（20）

5 セルフタイマーランプ（21）/AFイルミネーター（69）

6 リストストラップ取り付け部

7 WLANアンテナ（内部）

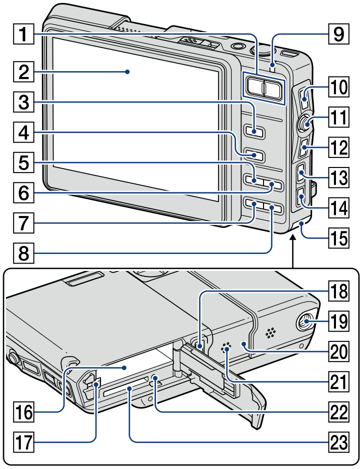
8 OPEN（CAMERA）レバー（18）

9 マイク

10 レンズ

11 レンズカバー

12 🎧（ヘッドホン）端子（105）



1 撮影時：ズーム（W/T）ボタン（19）
再生時：⊖/⊕（再生ズーム）ボタン/▦（インデックス）ボタン（23、24）

2 液晶画面（16）

3 🎞/📷（動画/静止画）切り換えボタン（18）

4 ▶（再生）ボタン（23）

5 撮影時：⚡（フラッシュ）ボタン（20）
音楽再生時：ホールドボタン（104）

6 🌷/🔍（マクロ/拡大鏡）ボタン（20）

7 ▦/🗑（画像サイズ/削除）ボタン（22、23）

8 🕓（セルフタイマー）ボタン（21）

9 フラッシュチャージ（20）/CHGランプ

10 DISP（画面表示切り換え）ボタン（16）

11 コントロールボタン

12 BACKボタン
- ひとつ前の画面に戻ります。

13 MENUボタン（29）

14 HOMEボタン（26）

15 バッテリー/“メモリースティック デュオ”カバー

16 バッテリー挿入口

17 取りはずしつまみ

18 マルチ接続端子

19 三脚用ネジ穴
- 三脚を取り付けるときは、ネジの長さが5.5 mm未満の三脚を使う。
ネジの長さが5.5 mm以上の三脚ではしっかり固定できず、本機を傷つけることがあります。

20 RESETボタン（106）

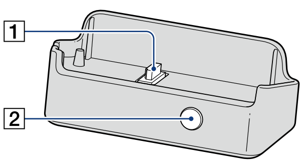
21 スピーカー

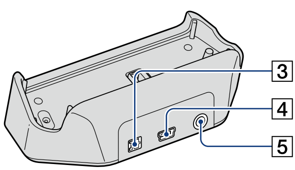
22 アクセスランプ

23 “メモリースティック デュオ”挿入口

サイバーショットステーション

バッテリーの充電、テレビやパソコンにつなぐときなどに使用します。





1 カメラ接続端子

2 CONNECTボタン（89）

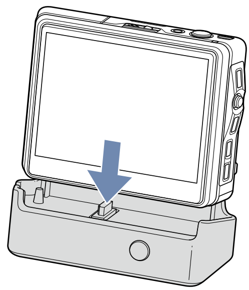
3 DC IN端子

4 ψ（USB）端子

5 A/V OUT（STEREO）端子

取り付ける

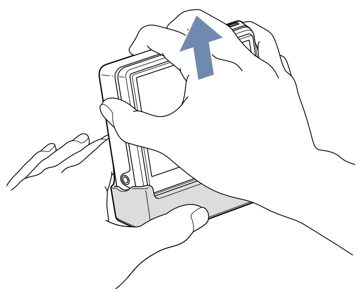
図のように本機を取り付けてください。



- 本機を奥まで確実に取り付けてください。

取りはずす

図のように本機とサイバーショットステーションを持って取りはずしてください。

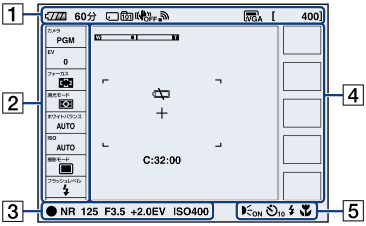


- 本機をサイバーショットステーションに取り付ける/取りはずすときは、必ず本機の電源を切ってください。

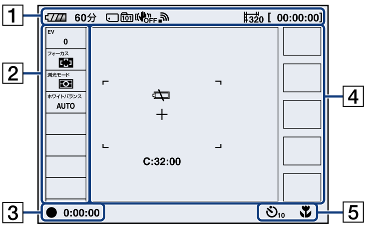
画面の表示

DISP（画面表示切り換え）ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が切り換わります。
カッコ内の数字はページ数。

静止画撮影時



動画撮影時



1

表示	意味
60分	バッテリー残量 • モードによっては、だけの表示になります。
	記録メディア
101	記録フォルダ（59） • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
ON OFF	手ぶれ補正（70）
	ネットワーク電波強度
6M 3:2 3M 2M VGA 16:9 640 320	画像サイズ（22）
[400]	撮影残枚数
[00:00:00]	最大記録可能時間

2

表示	意味
	メニューで設定した内容（16）
W T	ズーム（19、68）

3

表示	意味
●（緑） ●（赤）	AE/AFロック（19） 動画録画中
スタンバイ	動画撮影スタンバイ
00:00:00	記録時間
NR	NRスローシャッター • 暗い場所での撮影時など、シャッタースピードが一定以下になると、自動的に画像ノイズを低減します。この機能をNR（ノイズリダクション）スローシャッター機能といいます。
125	シャッタースピード
F3.5	絞り値
+2.0EV	露出補正値（34）
ISO400	ISO感度（39）

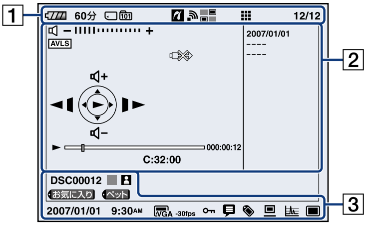
4

表示	意味
C:32:00	自己診断表示（118）
	バッテリープリエンド（118）
+	スポット測光照準（37）
	AF測距枠（35）
	履歴画像（16）

5

表示	意味
ON	AFイルミネーター（69）
	手ぶれ警告 • 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況を示しています。表示されていても撮影は可能ですが、手ぶれ補正をオンにする、または光量を増やすためにフラッシュを使ったり、三脚などで本機をしっかりと固定することをおすすめします（119）。
10 2	セルフタイマー（21）
SL	フラッシュモード（20）
	マクロ/拡大鏡モード撮影（20）

再生時



1

表示	意味
60分	バッテリー残量 • モードによっては、 だけの表示になります。
	オリジナル画像の保存先
101	再生フォルダ（59） • 内蔵メモリー使用時は表示されません。
	PictBridge接続（101）
	検索フィルター
	インデックスモード
12/12	画像番号/再生フォルダ内画像枚数

2

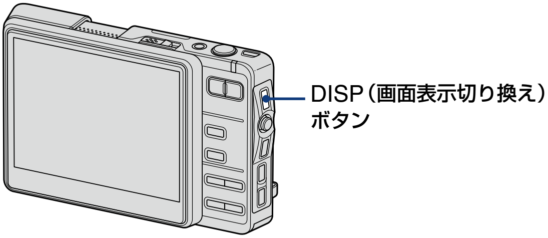
表示	意味
– +	音量（23）
AVLS	AVLS（63）
×1.3	ズーム（23）
C:32:00	自己診断表示（118）
00:00:12	カウンター
	再生バー
▶ ❚❚ ▶▶ ◀◀ ❚▶ ◀❚	再生（23） ▶ 再生 ❚❚ 一時停止 ▶▶ 早送り ◀◀ 巻き戻し ❚▶ コマ送り ◀❚ コマ戻し
	動画操作ガイド ▶▶❚/▶▶ スキップ/早送り ◀◀/❚◀◀ スキップ/巻き戻し ❚▶ コマ送り ◀❚ コマ戻し
	PictBridge接続中（102） • マークが画面に表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。
2007/01/01 ----	情報表示エリア

3

表示	意味
DSC00012	ファイル番号(58)
□	色認識
	顔認識
	ラベル
2007/01/01 9:30AM	画像の記録日時
6M 3:2 3M 2M VGA 16:9 640 320	画像サイズ(22)
-30fps	フレーム数(22)
	プロテクト(48)
	コメント
	ラベル(51)
	PCバックアップ(済/未)
	画像解析(済/未)
	オリジナル画像(有/無)

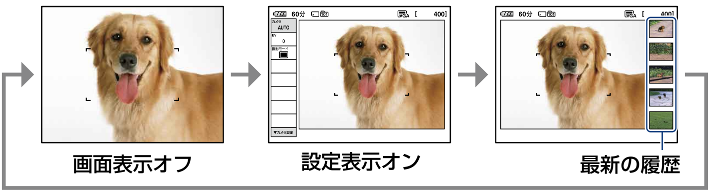
画面表示を切り換える

DISP（画面表示切り換え）ボタンを押すたびに、液晶画面の表示が以下のように切り換わります。



• DISP（画面表示切り換え）ボタンを長押しして、バックライトの明るさを明るくすることもできます。（バッテリー使用時のみ）

撮影中

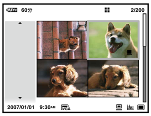


• 動画撮影中は画面表示オフになります。記録が終わると、設定していた画面に戻ります。

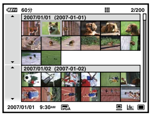
再生中（1枚再生）



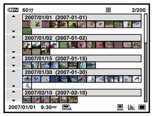
再生中（インデックス）



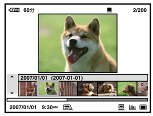
4枚インデックス



30枚インデックス



100枚インデックス



1＋6枚インデックス

- インデックスについては詳しくは、24ページをご覧ください。

ホーム画面

背景が黒

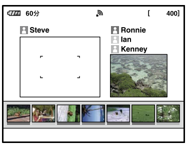


背景が白



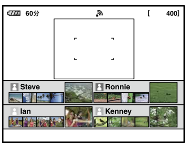
コラボショット中

ノーマル



本機側と接続相手の画像が記録順に表示

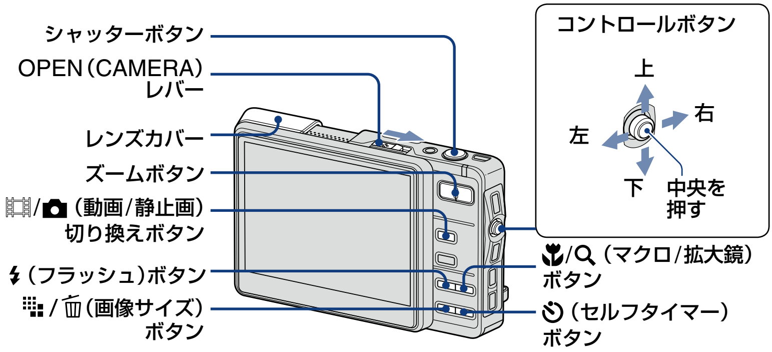
マルチアングル



接続相手別に表示

- コラボショットについて詳しくは、94ページをご覧ください。

簡単に撮る（オート撮影）



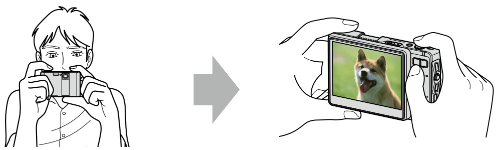
1 **OPEN（CAMERA）レバーをひいて、レンズカバーを開く。**

「カチッ」と音がするまで開く。

2 **/（動画/静止画）切り換えボタンでモードを選ぶ。**

押すたびに静止画モードと動画モードが切り換わる。

3 **脇を締めて構え、構図を決める。**



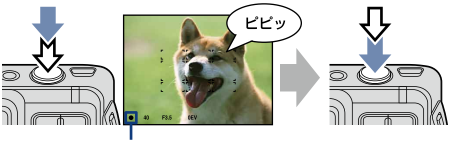
4 シャッターボタンで撮影する。

オリジナル画像とは別に小サイズのアルバム画像が本機の内蔵メモリーに記録される(7ページ)。

静止画(オート撮影)のとき:

① シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせる。
緑の●(AE/AFロック表示)が点滅し、「ピピッ」という音がして点灯する。

② シャッターボタンを深く押し込む。



動画のとき:

シャッターボタンを深く押し込む。
録画を止めるには、もう一度シャッターボタンを深く押し込む。

静止画のピントがうまく合わないときは

- ピントが合う最短距離は約50 cmです。それよりも近くで撮影するときは、「マクロ撮影」または「拡大鏡モード撮影」(20ページ)を利用してください。
- 自動でピントを合わせられない場合は、AE/AFロック表示の点滅が遅い点滅に変わり、「ピピッ」と音がしません。また、AF測距枠が消えます。構図を変えるなどしてください。

ピントが合いにくい被写体:

– 被写体が遠くて暗い
– 被写体と背景のコントラストが弱い
– ガラス越しの被写体
– 高速で移動する被写体
– 鏡や発光物など反射、光沢のある被写体
– 点滅する被写体
– 逆光になっている被写体

ズームする

ズームボタンを押す。

- レンズの倍率(3倍)を超えるとデジタルズームになります。
[デジタルズーム]について詳しくは、68ページをご覧ください。

フラッシュ（静止画のフラッシュモードを選ぶ）

ボタンを押す。

押すごとに、設定が変わる。



AUTO：フラッシュオート

光量不足または逆光と判別したとき発光（お買い上げ時の設定）。

- 設定しても、画面下には何も表示が出ません。

：フラッシュ強制発光

SL：スローシンクロ（強制発光）

暗い場所ではシャッタースピードを遅くし、フラッシュが届かない背景も明るく撮影。

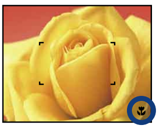
：フラッシュ発光禁止

- フラッシュは2回発光し、1回目で発光量を調整します。
- フラッシュを充電している間、CHGランプが点滅します。

マクロ撮影／拡大鏡モード撮影（被写体に近接して撮る）

/ボタンを押す。

押すごとに、設定が変わる。



OFF：マクロ切（お買い上げ時の設定）

- 設定しても、画面下には何も表示が出ません。

：マクロ入（W側：約8 cm以上、T側：約25 cm以上）

：拡大鏡入（W側固定：約1 ～ 20 cm）

マクロ撮影

- ズームをW側いっぱいにしてから撮ることをおすすめします。
- ピント合わせの範囲が狭くなるため被写体全体にピントが合わないことがあります。
- 通常よりもピント合わせが遅くなります。

拡大鏡モード撮影

- マクロ撮影よりも、さらに近距離で撮影したい場合に使用します。
- 連写、ブラケット機能は使えません（40ページ）。
- 光学ズームはW側に固定され使えません。
- ズームボタンを押すと、デジタルズームで拡大して撮影できます。

セルフタイマーを使う

ボタンを押す。

押すごとに、設定が変わる。



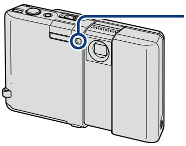
OFF：セルフタイマー解除

• 設定しても、画面下には何も表示が出ません。

10：セルフタイマーを10秒後に設定

2：セルフタイマーを2秒後に設定

シャッターボタンを押すと、セルフタイマーランプが点滅して「ピッピッピッ」と操作音が鳴り、撮影が開始されます。



やめるには、もう一度 ボタンを押す。

/ 画像サイズを変える

/（画像サイズ）ボタンを押して、コントロールボタンで設定を選ぶ。
お買い上げ時の設定は✓で示しています。

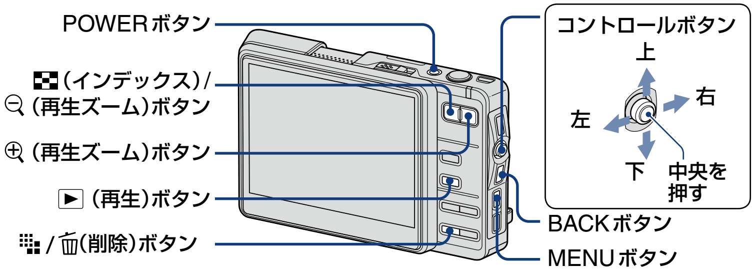
	画像サイズ	用途の例	撮影可能枚数	プリント時
✓	6M （2816 × 2112）	A4サイズまでの印刷	少ない ↕ 多い	精細 ↕ 粗い
	3:2[1]（2816 × 1872）	縦横比3:2での撮影		
	3M （2048 × 1536）	2L判サイズまでの印刷		
	2M （1632 × 1224）	L判サイズまでの印刷		
	VGA（640 × 480）	Eメールでの送付など		
	16:9[2]（1920 × 1080）	ハイビジョンTVでの鑑賞[3]		

1) 写真の印画紙、ポストカードなどと同じく3:2の縦横比で撮影します。
2) プリント時に両端が切れることがあります（115ページ）。
3) メモリースティックスロットやUSB経由、ネットワーク経由（98ページ）で接続すると、より高画質でお楽しみいただけます。

	動画画像サイズ	フレーム数/秒	用途の例
✓	640×480	約30枚	テレビでの鑑賞
	320×240	約30枚	Eメールでの送付など

• 画像サイズは大きいほど高精細になります。

画像を見る/削除する



1 ▶(再生)ボタンを押す。

レンズカバーが閉まった状態のときは、POWERボタンを押して電源を入れるだけで再生モードになります。

2 コントロールボタンを左右に動かして画像を選ぶ。

左に動かすと前の画像が、右に動かすと次の画像が表示される。

動画のとき： コントロールボタンの中央を押して再生する。(再生を中止するにはもう一度押す)
コントロールボタンを右に押し続けると早送り、左に押し続けると巻き戻しする。
音量を調節するには、コントロールボタンを上下に動かす。

/ 削除する

① 削除したい画像を表示中に、/ (削除)ボタンを押す。
② コントロールボタンで[オリジナル画像のみ削除]か[アルバムからも削除]かを選び、中央を押す。

削除を中止するには

[終了]を選び、中央を押す。

再生ズーム(拡大して見るときは)

静止画を再生中に ボタンを押すとズームできる。 ボタンで戻る。

ズーム位置変更： コントロールボタンを上下左右に動かす
ズーム中止： BACKボタンを押す

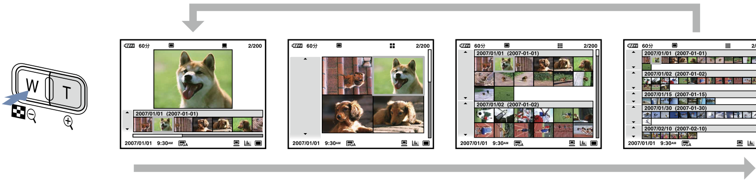
• 再生ズームをすると、ズーム倍率以外の画面表示は消えます。

インデックス(一覧表示)画面を使う

(インデックス)ボタンを押すと、インデックス画面に切り換わる。

DISP(画面表示切り換え)ボタンまたは (インデックス)ボタンを押すたびに、画面が下記のように切り換わります。

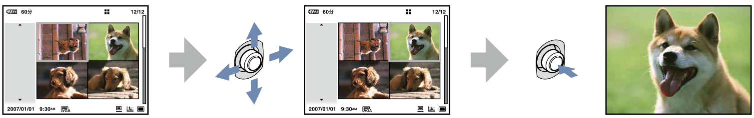
DISP(画面表示切り換え)ボタン



DISP(画面表示切り換え)ボタンまたは (インデックス)ボタン

コントロールボタンで画像を選ぶ。

コントロールボタンの中央を押すと、シングル画面に戻る。



インデックス(一覧表示)画面で削除する

① インデックス表示中に、 / (削除)ボタンを押す。

② 画像を選ぶ(25ページ)。

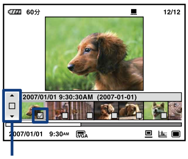
③ コントロールボタンで[オリジナル画像のみ削除]か[アルバムからも削除]かを選び、中央を押す。

インデックス（一覧表示）画面を使って画像を選ぶ

下記の機能については、複数の画像を選択し、まとめてその機能を実行することができます。
削除/印刷/ピクチャーギフト/画像公開/インポート/エクスポート/スライドショー/ラベル/プロテクト

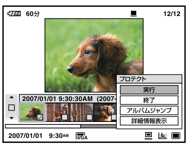
①各機能で画像選択のモードを選ぶ。
画像選択画面が表示される。

②コントロールボタンで画像を選び、中央を押す。
画像に ✔ マークが付く。



アルバム（フォルダ）の画像をすべて選ぶには
アルバム（フォルダ）の枠が選ばれるまでコントロールボタンを左に動かし、中央を押す。
すべての画像に ✔ マークが付く。

③MENUボタンを押す。

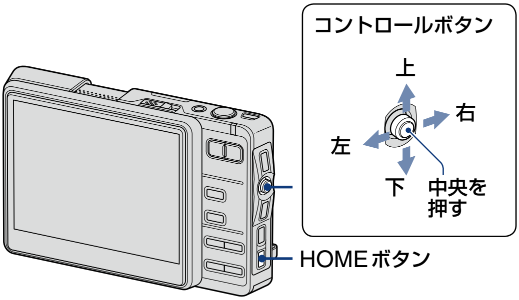


④[実行]を選び、中央を押す。
各機能が実行される。

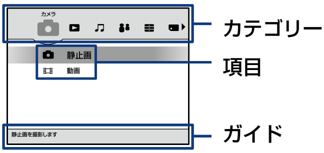
画像の選択を取り消すには
手順②で ✔ マークが付いた画像をもう一度選び、コントロールボタンの中央を押すと、画像から ✔ マークが消えます。

ホーム画面の操作方法

ホーム画面とは、本機の機能の入り口になる基本の画面です。撮影モード/再生モードに関わらずアクセス可能です。



1 HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。



2 コントロールボタンを左右に動かし、カテゴリーを選ぶ。

3 コントロールボタンを上下に動かし、項目を選ぶ。

4 コントロールボタンの中央を押して実行する。

• PictBridge/USB接続中は、ホーム画面を表示できません。

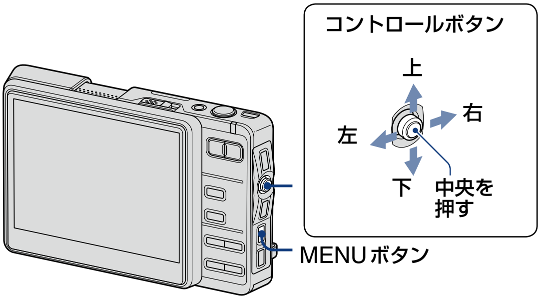
ホーム一覧

HOMEボタンを押すと下記項目が表示されます。
各項目の詳細は、ガイドに表示されます。

カテゴリー	項目
カメラ	静止画(31ページ) 動画(31ページ)
ビューワー	アルバム(42ページ) メモリースティック(42ページ) 最後に撮った画像(42ページ) 最後に見た画像(42ページ) スライドショー（43ページ）
ミュージック	音楽プレーヤー（104ページ）
コミュニケーション	コラボショット(94ページ) ピクチャーギフト(96ページ)
ツールボックス	印刷(101ページ) 画像公開(98ページ)
メディアツール	全般(58ページ) メディア使用量表示　ファイルナンバー 記録優先メディア　アルバムチェック
	メモリースティック(59ページ) フォーマット　記録フォルダ作成 記録フォルダ変更
	内蔵メモリー（61ページ） 画像読み込み　フォーマット フルフォーマット

カテゴリー	項目
設定	本体設定 音設定(63ページ) 操作音　AVLS 画面設定(64ページ) 言語　ホームデザイン 機能ガイド　LCD明るさ 一般設定(65ページ) 設定リセット　USB接続 ビデオ信号出力
	時計設定(67ページ) 時計設定
	カメラ設定(68ページ) 画像サイズ[静止画]　画像サイズ[動画] AFモード　デジタルズーム 赤目軽減　AFイルミネーター 手ブレ補正　縦横判別
	ミュージック設定(71ページ) リピート　MEGA BASS LCD自動オフ
	ネットワーク設定(72ページ) アクセスポイント　ネットワーク省電 ニックネーム　画像交換暗証キー

メニュー画面の操作方法



1 MENUボタンを押し、メニューを表示する。

• モードの違いにより使用できる項目が異なります。



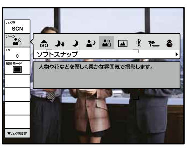
機能ガイド
[機能ガイド]を[切]にすると、ガイド表示を消すことができます（64ページ）。

2 コントロールボタンを上下に動かし、設定するメニュー項目を選ぶ。

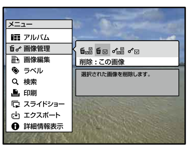
3 コントロールボタンを左右に動かし、設定を選ぶ。

• 設定がかくれている場合は、表示されるまで左右に動かす。

撮影モード



再生モード



• 再生モードのときは、設定選択後、中央を押す。

4 MENUボタンを押し、メニュー表示を消す。

基本操作

メニュー項目一覧

カメラ設定や、撮影モード・再生モードの違いにより使用できる項目が異なります。本機の画面には、使用できる項目のみ表示されます。

（●：使用可能）

撮影時に使うメニュー（34ページ）

	オート	プログラム	シーンセレクション	
カメラ	●	●	●	–
シーン	–	–	●	–
EV	●	●	●	●
フォーカス	–	●	–	●
測光モード	–	●	–	●
ホワイトバランス	–	●	●*	●
ISO	–	●	–	–
撮影モード	●	●	●*	–
フラッシュレベル	–	●	–	–
カメラ設定	●	●	●	●

* シーンセレクションのモードによっては使用できません（33ページ）。

再生時に使うメニュー（46ページ）

- アルバム（フォルダ）
- 画像編集
- 検索
- スライドショー
- 詳細情報表示
- 画像管理
- ラベル
- 印刷
- インポート（エクスポート）

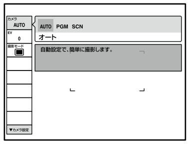
撮影モードを変更する

メニュー画面でカメラモードを切り換えます。

静止画撮影：

静止画には、オート、プログラム、シーンセレクションの3つのカメラモードがあります。お買い上げ時は、オートに設定されています。オート以外に設定し直したい場合は、下記の方法で設定してください。

① MENUボタンを押す。
② コントロールボタンを上に動かして、[カメラ]を選ぶ。
③ コントロールボタンを左右に動かして、希望のモードを選ぶ。



AUTO：静止画オート撮影

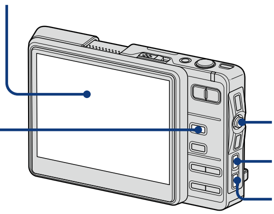
自動設定で簡単に撮影できます。

PGM：プログラムオート撮影

露出（シャッタースピードと絞り）は本機が自動設定します。また、メニューで多彩な機能を設定できます。（使用可能な機能については30ページをご覧ください。）

SCN：シーンセレクション（）

あらかじめ、撮影状況に合わせて用意された設定で撮影できます（32ページ）。



/ （動画/静止画）切り換えボタン

コントロールボタン

MENUボタン

HOMEボタン

静止画モードと動画モードを切り換えるには

HOMEボタンを押し、コントロールボタンで、[]（カメラ）→[静止画]または[動画]を選び、中央を押す。

- / （動画/静止画）切り換えボタンでも切り換えることができます。

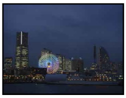


場面に合わせて静止画を撮る(シーンセレクション)

あらかじめ、撮影状況に合わせた下記の設定が用意されています。



高感度モード
暗いところでも、フラッシュを使わずにぶれを軽減しながら撮影できます。



手持ち夜景モード
複数回の連写を行い、手ぶれを補正しながら1枚の画像を作成します。
三脚を使わずに夜景を撮影するときに便利です。
- 手ぶれが大きすぎたり、被写体が動いていたり、画面が暗すぎたりする場合は手ぶれを補正しきれない場合があります。



夜景モード*
暗い雰囲気を損なわずに、遠くの夜景を撮影できます。



夜景＆人物モード*
夜景と手前の人物を同時に撮影するときに使います。夜景の雰囲気を損なわずに、手前の人物を際立たせた画像を撮影できます。



ソフトスナップモード
人物の肌の色を明るく暖かい色調できれいに撮影できます。また、ソフトフォーカス効果があるため、人物や花などの画像を優しい雰囲気に仕上げることができます。



風景モード
遠景にピントを合わせることで、遠くの風景などを撮影しやすくします。



高速シャッターモード
屋外などの明るい場所で動きのある被写体を撮影するときに使います。
- シャッタースピードが速くなるので、暗い場所で撮影すると画像が暗くなります。



ビーチモード
海や湖畔などの場所で撮影するとき、水の青さを鮮やかに記録します。



スノーモード
雪景色などの画面全体が白くなるような場所で撮影する場合、画面が沈みがちになるのを防ぎ、明るくなるようにします。



打ち上げ花火モード*
打ち上げ花火をきれいに撮影できます。

* シャッタースピードが遅くなるので、三脚のご使用をおすすめします。

シーンセレクションで使用できる機能について

シーンセレクションでは、シーンに合わせて最適な撮影ができるよう、機能設定の組み合わせがあらかじめ決まっています。●はお好みの設定ができる機能です。
モードによっては使えない機能があります。

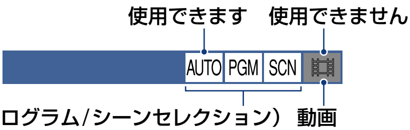
	マクロ/拡大鏡モード	フラッシュモード	ホワイトバランス	連写/ブラケット	EV補正
	●/–		●*	●	●
	–/–		–	–	●
	–/–		–	–	●
	●/–		–	–	●
	●/–	●	–	●	●
	–/–		–	●	●
	●/–		–	●	●
	●/–		–	●	●
	●/–		–	●	●
	–/–		–	–	●

* [](フラッシュ)は選べません。

撮影時のメニューを使う

ここでは撮影時にMENUボタンで操作する機能について説明しています。
操作方法について詳しくは、29ページをご覧ください。

使えるモードを下記のように説明しています。
グレー表示のモードでは設定できません。



お買い上げ時の設定は✔で示しています。

カメラ：静止画モードの選択 AUTO PGM SCN

31ページをご覧ください。

シーン：シーンセレクションモードの選択 SCN

32ページをご覧ください。

EV：露出の補正 AUTO PGM SCN



−方向　　＋方向

露出を手動補正します。

	↑ −2.0EV	**−側**：画像が暗くなる。
✔	0EV	本機が自動設定した露出。
	↓ ＋2.0EV	**＋側**：画像が明るくなる。

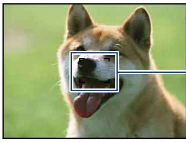
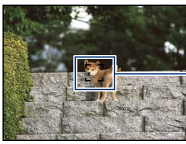
- 1/3EV単位で露出値を調節できます。
- 被写体が極端に明るいときや暗いとき、またはフラッシュ撮影時は、補正が効かないことがあります。

操作方法は29ページ

フォーカス：ピント合わせの設定 AUTO PGM SCN

ピント合わせの方法を変更します。ピントが合いにくいときなどに使います。

<table>
<tr><td>✓</td><td>（マルチAF）</td><td>画面全体を基準に、自動ピント合わせする。
• 被写体が中央にないときなどに便利です。

AF測距枠
（静止画のみ）</td></tr>
<tr><td></td><td>（中央重点AF）
（静止画のみ）</td><td>画面中央付近の被写体に自動ピント合わせする。
• AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。

AF測距枠</td></tr>
<tr><td></td><td>（スポットAF）
（静止画のみ）</td><td>非常に小さな被写体に自動ピント合わせする。
• AFロックと併用して好きな構図で撮影が可能です。測距枠からはずれないように手ぶれにご注意ください。

AF測距枠</td></tr>
<tr><td></td><td>0.5 m</td><td rowspan="5">あらかじめ設定した距離にピントが合う。
（フォーカスプリセット）
• 網やガラス越しの撮影など、オートフォーカスが効きにくいときに便利です。</td></tr>
<tr><td></td><td>1.0 m</td></tr>
<tr><td></td><td>3.0 m</td></tr>
<tr><td></td><td>7.0 m</td></tr>
<tr><td></td><td>∞（無限遠）</td></tr>
</table>

- AFとは、「Auto Focus」の略で、自動ピント合わせ機能のこと。
- 「フォーカスプリセット」の距離設定は多少の誤差を含みます。レンズを上や下に向けると誤差は大きくなります。
- デジタルズームやAFイルミネーターを使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。

 操作方法は29ページ

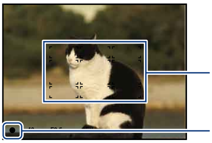
ピントが合わないときは

被写体がフレーム（画面）端にある場合や、[ ]（中央重点AF）または[ ]（スポットAF）設定の場合、フレーム端の被写体にピントが合わない場合があります。



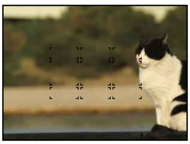
この場合、以下の方法を使います。

① 被写体がAF測距枠内に入るように構図を変え、シャッターボタンを半押ししてピントを合わせる（AFロック）。



シャッターボタンを押し込む前なら、何回でもやり直せます。

② AE/AFロック表示が点滅→点灯に変わったら、半押しのまま構図を戻し、シャッターボタンを押し込んで撮影する。

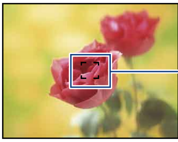


操作方法は29ページ

測光モード：測光部分の設定

AUTO PGM SCN

本機が自動で露出を決めるとき、画面のどの部分で光を測るか（測光）を設定します。

✓	**（マルチ）**	画面を多分割して測光し、全体のバランスをとって自動調節する（マルチパターン測光）。
	（中央重点）	画面の中央部に重点をおいて測光し、中央部付近の明るさを基準に露出を決める（中央重点測光）。
	（スポット） （静止画のみ）	被写体の一部分だけで測光する（スポット測光）。 • 逆光にある被写体や、背景と被写体のコントラストが強いときに便利です。  **スポット測光照準** 被写体をここに合わせる

• スポット測光や中央重点測光の場合、測光する場所とフォーカス位置を合わせたいときは、［フォーカス］を［ ］（中央重点AF）にすることをおすすめします（35ページ）。

撮影時の機能を使う

ホワイトバランス：色合いの調整 AUTO PGM SCN

画像の色がおかしいと感じたときなどに、撮影場所の光の状況に合わせて調整します。

✔	AUTO（オート）	ホワイトバランスを自動調節する。
	（太陽光）	晴天の屋外や、夕景/夜景/ネオン/花火などに合わせる。 
	（曇天）	曇り空や日陰に合わせる。 
	（蛍光灯）	蛍光灯の光に合わせる。 
	（電球）	白熱電球や、スタジオなどのビデオライトに合わせる。 
	（フラッシュ）	フラッシュ光に合わせる。 • 動画のときは選べません。 

操作方法は29ページ

- ちらつきのある蛍光灯下では、[ ]（蛍光灯）を選んでもうまく合わないことがあります。
- [ ]（フラッシュ）以外のときフラッシュ発光して撮影すると、[ホワイトバランス]は[AUTO]（オート）になります。
- シーンセレクションのモードによっては、選択できないものがあります（33ページ）。

ISO：受光感度の調整

AUTO PGM SCN



数値小　　　　　　数値大

光に対する感度をISOという単位で設定します。数値が大きいほど高感度になります。

✓	AUTO（オート）	暗い場所や高速で移動する被写体には大きい値を、高画質で撮るには小さい値を設定する。
	ISO 80	
	ISO 100	
	ISO 200	
	ISO 400	
	ISO 800	
	ISO 1000	

- 高感度になるほどノイズ感が増します。
- シーンセレクションのときは、[ISO]は[AUTO]（オート）になります。
- 明るい環境下で撮影すると、自動的に階調表現が増し、白とびが軽減されます（[ISO]が[ISO 80]以外のとき）。

撮影モード：連写の設定　AUTO PGM SCN

シャッターを押し込んだとき、連写するかしないかを設定します。

✓	（通常撮影）	連写しない。
	（連写）	シャッターボタンを押し続けている間、最大連写枚数（次の表）まで連写する。 • 「記録中」という表示が消えると次の画像を撮影できます。  • フラッシュは（発光禁止）になります。
	BRK±0.3（BRK±0.3EV）	3通りの異なった露出で、静止画を3枚撮影する（ブラケット）。 値が大きいほど、露出のずれも大きくなります。 • 被写体の明るさによってうまく撮影できないときに、ブラケット撮影で露出を変えながら撮影すれば、撮影したあと最適な露出の画像を選ぶことができます。  • [カメラ]が[AUTO]のとき、ブラケット撮影はできません。 • フラッシュは（発光禁止）になります。
	BRK±0.7（BRK±0.7EV）	
	BRK±1.0（BRK±1.0EV）	

連写について

- セルフタイマーで連写すると、最大7枚の連続撮影となります。
- 撮影の間隔は約0.3秒です。
- バッテリーの残量が少ない、または内蔵メモリー / “メモリースティック デュオ”の容量がいっぱいになると、連写は停止します。
- シーンセレクションのモードによっては連写できない場合があります（33ページ）。

最大連写枚数

サイズ	撮影枚数
6M	7
3：2	7
3M	10
2M	15
VGA	100
16:9	15

ブラケットについて

- フォーカスとホワイトバランスは、最初の1枚目に設定された値に固定されます。
- 露出補正をしているときは（34ページ）、補正した明るさを基準に露出が変わり撮影されます。
- 撮影の間隔は約0.3秒です。
- 被写体が明るすぎたり暗すぎたりするときは、設定した補正量で撮影できない場合があります。
- シーンセレクションのモードによっては、ブラケット撮影できない場合があります（33ページ）。

フラッシュレベル：フラッシュの光量の設定

AUTO PGM SCN

フラッシュの発光量を調節します。

	– （–）	発光量を減らす。
✓	（標準）	
	+ （+）	発光量を増やす。

- フラッシュモードの切り換えについて詳しくは、20ページをご覧ください。

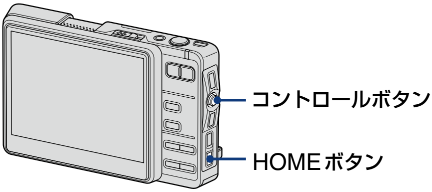
カメラ設定：撮影機能に関する設定

AUTO PGM SCN

撮影機能に関する設定ができます。ホーム画面から入る[ ]（設定）の[カメラ設定]と同じです。68ページをご覧ください。

ホーム画面から画像を再生する

ホーム画面で、簡単に再生画像を選ぶことができます。





① HOMEボタンを押す。
② コントロールボタンを左右に動かして、[▶]（ビューワー）を選ぶ。
③ コントロールボタンを上下に動かして、希望のモードを選び、中央を押す。

アルバム

アルバム画像をインデックス画面で表示します。

メモリースティック

“メモリースティック デュオ”の画像をフォルダ選択画面で表示します。

NEW 最後に撮った画像

最後に撮った画像を表示します。▶（再生）ボタンを押したときと同じ働きをします。

• インポートした画像や他機で撮影した画像、コラボショットの画像は、日付が新しくても表示されません。

最後に見た画像

最後に見たアルバム画像を表示します。

スライドショー

① ホーム画面から[スライドショー]を選ぶ。

② アルバム画像を見るときは[アルバム]を、“メモリースティック デュオ”の画像を見るときは[メモリースティック]をコントロールボタンで選び、中央を押す。



③ コントロールボタンで各項目を設定する。

④ [実行]を選び、中央を押す。
スライドショーが始まる。
スライドショーをすぐ始めないときは[終了]を選び、中央を押す。

スライドショーを一時停止するには

コントロールボタンの中央を押す。
再開したいときは[続行]を選び、中央を押す。

• 画像は停止したところから再生されますが、BGMは曲の始めから再生されます。

画像を戻す/送るには

コントロールボタンを左右に動かす。

BGMの音量を調節するには

コントロールボタンを上下に動かして音量を調節する。

スライドショーを終了するには

コントロールボタンの中央を押し、[終了]を選び、中央を押す。

設定を変更するには

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

画像選択		
	全て	すべての画像を順番に再生する。
✓	**アルバム内全て(フォルダ内全て)**	選択中のアルバム(フォルダ)内の画像を順番に再生する。
	画像選択	画像を選択する(25ページ)。

エフェクト		
✓	**シンプル**	さまざまなシーンにフィットするシンプルなスライドショー。
	ノスタルジック	映画の1シーンのようなムードあるスライドショー。
	スタイリッシュ	ミドルテンポのスタイリッシュなスライドショー。
	アクティブ	アクティブなシーンに合ったハイテンポなスライドショー。
	ノーマル	画像を一定間隔で送るベーシックなスライドショー。

- [シンプル]、[ノスタルジック]、[スタイリッシュ]、[アクティブ]設定時は、静止画のみ表示されます。
- [ノーマル]設定時は、[BGM]は[切]に固定されます。ただし、動画の音声は流れます。

BGM 音楽(BGM)は、それぞれのエフェクトに合わせて作られています。		
✓	Music1	[エフェクト]が[シンプル]のときの初期設定。
	Music2	[エフェクト]が[ノスタルジック]のときの初期設定。
	Music3	[エフェクト]が[スタイリッシュ]のときの初期設定。
	Music4	[エフェクト]が[アクティブ]のときの初期設定。
	マイグループ	「MUSIC」フォルダの中のフォルダを選択して、その中に入ってる曲を順番に再生していく設定。
	マイミュージック	「MUSIC」フォルダに入ってる曲が一覧表示され、曲を選んでスライドショーする設定。
	切	[エフェクト]が[ノーマル]のときの設定。BGMはありません。

間隔設定		
✔	**オート**	選択している[エフェクト]に適した間隔になる。 [エフェクト]が[ノーマル]のとき以外は[オート]に固定されます。
	3秒	画面切り換えの間隔。 ([エフェクト]が[ノーマル]のときのみ)
	5秒	
	10秒	
	30秒	
	1分	

再生モード		
✔	**リピート**	順番どおりに、繰り返しスライドショーする。
	ランダム	画像をランダムにスライドショーする。
	ノーマル	順番どおりに、1回スライドショーする。

本機の「MUSIC」フォルダに曲を入れるには

パソコンを使って、「MUSIC」フォルダにMP3ファイルを入れることができます。
詳しくは、103ページをご覧ください。

再生時のメニューを使う

操作方法は29ページ

ここでは、再生時にMENUボタンで操作する機能について説明しています。
メニューの操作方法について詳しくは、29ページをご覧ください。

アルバム/フォルダ：アルバムジャンプ/フォルダジャンプ・アルバム結合・アルバム分割

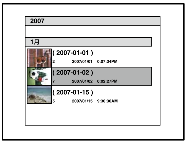
見たいアルバムを時系列で検索したり、本機が自動で作成したアルバムを結合・分割することができます。

- “メモリースティック デュオ”再生中は、[ ]（フォルダジャンプ）のみ表示されます。

（アルバムジャンプ） **（フォルダジャンプ）**	別のアルバム（フォルダ）を選んで移動します。
（アルバム結合）	2つのアルバムをひとつにします。
（アルバム分割）	アルバムを任意の箇所で分割することができます。

別のアルバムに移動するには

① コントロールボタンで[ ]（アルバムジャンプ）を選び、中央を押す。
アルバム一覧が表示される。



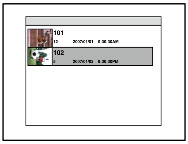
- 各アルバムには、記録日時の一番古い画像が表示されています。
- コントロールボタンを左右に動かすと、選択されているアルバムと同時期の前後の年にジャンプすることができます。
- アルバムの名前は日付になっていますが、CD-ROM（付属）内の「Album Editor」を使うと、お好みの名前を入力することができます（79ページ）。

② 移動したいアルバムを選び、中央を押す。
選択したアルバムが表示される。

操作方法は29ページ

別のフォルダに移動するには

① コントロールボタンで[ ]（フォルダジャンプ）を選び、中央を押す。
　フォルダ一覧が表示される。



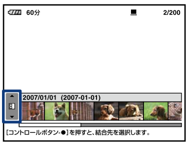
• 各フォルダには、記録日時の一番古い画像が表示されています。

② 移動したいフォルダを選び、コントロールボタンの中央を押す。
　選択したフォルダが表示される。

アルバムを結合するには

① 移動元のアルバムの画像を表示する。

② コントロールボタンで[ ]（アルバム結合）を選び、中央を押す。
　アルバム選択画面が表示される。



③ コントロールボタンを上下に動かして、結合先のアルバムを選び、中央を押す。

④ [実行]を選び、中央を押す。
　アルバムが結合される。

• 移動元のアルバムは削除されます。
• 画像を絞り込んでいる状態で実行すると、絞り込まれている画像のみ結合先に移動します。

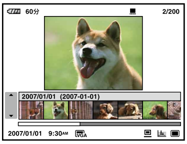
アルバム結合を中止するには

BACKボタンを押す。

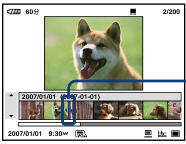
アルバムを分割するには

① 分割したいアルバムの画像を表示する。

② コントロールボタンで[ ]（アルバム分割）を選び、中央を押す。
分割選択画面が表示される。



③ コントロールボタンを左右に動かして、アルバムを分割する位置を選び、中央を押す。



④ [実行]を選び、中央を押す。
選択された位置で画像が分割される。

アルバム分割を中止するには

BACKボタンを押す。

- 分割された前半は、元のアルバム名をひきつぎ、後半は、「元のアルバム名-(2)」となります。
- 画像の絞り込み中に[ ]（アルバム分割）を選ぶと、画像の絞り込みは解除されます。

画像管理：削除・プロテクト

画像を削除したり、誤って消さないように保護（プロテクト）することができます。

（削除：画像選択）	画像を選んで、削除します。
（削除：この画像）	選択している画像を削除します。
（プロテクト：画像選択）	画像を選んで、削除不可の設定/解除をします。
（プロテクト：この画像）	選択している画像の削除不可の設定/解除をします。

画像を選択して削除するには

① コントロールボタンで[削除：画像選択アイコン]（削除：画像選択）を選び、中央を押す。
画像選択画面が表示される。
② 画像を選ぶ（25ページ）。
③ MENUボタンを押し、メニューを表示する。
④ [実行]を選び、中央を押す。
⑤ アルバム画像を再生しているときは、[オリジナル画像のみ削除]か[アルバムからも削除]を選び、中央を押す。
選択した画像が削除される。

画像を1枚削除するには

① 画像を選ぶ。
② コントロールボタンで[削除：この画像アイコン]（削除：この画像）を選び、中央を押す。
③ アルバム画像を再生しているときは、[オリジナル画像のみ削除]か[アルバムからも削除]を選び、中央を押す。
選択した画像が削除される。

• インデックス/削除アイコン（削除）ボタンでも削除できます。ただし、シングル画面のときは[この画像]、インデックス画面のときは[画像選択]に固定されます。

画像を選択してプロテクトするには

① コントロールボタンで[プロテクト：画像選択アイコン]（プロテクト：画像選択）を選び、中央を押す。
画像選択画面が表示される。
② 画像を選ぶ（25ページ）。
③ MENUボタンを押し、メニューを表示する。
④ コントロールボタンで[実行]を選び、中央を押す。
選択した画像がプロテクトされ、プロテクトマークが画面の下に表示される。

画像を1枚プロテクトするには

① 画像を選ぶ。
② コントロールボタンで[プロテクト：この画像アイコン]（プロテクト：この画像）を選び、中央を押す。
画像がプロテクトされ、プロテクトマークが画面の下に表示される。

プロテクトを解除するには

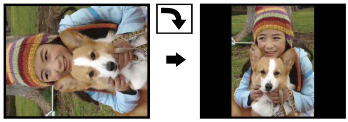
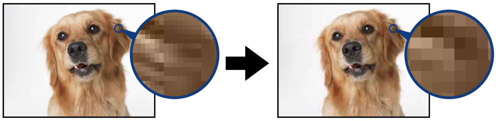
プロテクトする手順と同様にして、プロテクトを解除したい画像を選び、実行する。画面下部のプロテクトマーク表示が消えます。

• フォーマットするとプロテクトした画像も削除され元に戻せません。
• プロテクトには時間がかかる場合があります。

再生時の機能を使う

画像編集：回転・リサイズ

画像を回転したり、画像のサイズを変更します。

（回転）	静止画を左右に回転します。
（リサイズ）	撮影した画像のサイズを変えて（リサイズ）、新しいファイルとして記録します。元の画像はそのまま残ります。

画像を回転するには

① 画像を選ぶ。
② コントロールボタンで［ ］（回転）を選び、中央を押す。
③ ［ ］を選び、左右に動かして画像を回転させる。
④ ［実行］を選び、中央を押す。

回転を中止するには

手順③または④で［終了］を選び、中央を押す。

- プロテクトされている画像、動画は回転できません。
- 他機で撮影した画像は本機では回転できないことがあります。
- パソコンで画像を見るとき、ソフトウェアによっては画像の回転情報が反映されない場合があります。

画像をリサイズするには

① 画像を選ぶ。
② コントロールボタンで［ ］（リサイズ）を選び、中央を押す。
③ 変更したいサイズを選び、中央を押す。
6M/3M/2M/VGAの中から選ぶ。
リサイズした画像が選択中のアルバム（記録フォルダ）に一番新しいファイルとして記録される。

リサイズを中止するには

手順③で[終了]を選び、中央を押す。

- 画像サイズの選択の目安について詳しくは、22ページをご覧ください。
- 動画はリサイズできません。
- オリジナル画像が存在しているときはオリジナル画像がリサイズされ、存在していない場合はアルバム画像がリサイズされます。
- 小さいサイズから大きいサイズにリサイズすると、画像が劣化します。
- 縦横比3:2、16:9の画像サイズにはリサイズすることはできません。

ラベル：ラベル登録・ラベル解除

画像にラベルを登録します。

- 本機には、あらかじめ下記のラベルが用意されています。
  お気に入り/結婚式/誕生日/パーティー/子供/家族/友人/スポーツ/旅行/風景/ペット/趣味/その他
  CD-ROM（付属）内の「Album Editor」を使うと、ラベルを編集することができます。

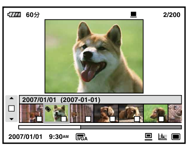
（ラベル登録：画像選択）	画像を選んで、ラベルをつけます。
（ラベル登録：この画像）	選択された画像にラベルをつけます。
（ラベル解除：画像選択）	画像を選んで、ラベルをはがします。
（ラベル解除：この画像）	選択された画像のラベルをはがします。

複数の画像にラベルを登録するには

① コントロールボタンで（ラベル登録：画像選択）を選び、中央を押す。
　ラベル選択画面が表示される。



② コントロールボタンを上下に動かして希望のラベルを選び、中央を押す。
　画像選択画面が表示される。



操作方法は29ページ

③ 画像を選ぶ(25ページ)。

④ MENUボタンを押し、メニューを表示する。

⑤ [実行]を選び、中央を押す。

選択した画像にラベルが登録され、 が画面の下に表示される。

1枚の画像にラベルを登録するには

① 画像を選ぶ。

② コントロールボタンで [ ] (ラベル登録:この画像)を選び、中央を押す。

ラベル選択画面が表示される。



③ コントロールボタンを上下に動かして希望のラベルを選び、中央を押す。

選択した画像にラベルが登録され、 が画面の下に表示される。

複数の画像のラベルを解除するには

① コントロールボタンで [ ] (ラベル解除:画像選択)を選び、中央を押す。

ラベル選択画面が表示される。

② コントロールボタンを上下に動かして解除したいラベルを選び、中央を押す。

画像選択画面が表示される。

③ 画像を選ぶ(25ページ)。

④ MENUボタンを押し、メニューを表示する。

⑤ [実行]を選び、中央を押す。

選択した画像のラベルが解除され、画面下の 表示が消える。

1枚の画像のラベルを解除するには

① 画像を選ぶ。

② コントロールボタンで [ ] (ラベル解除:この画像)を選び、中央を押す。

ラベル選択画面が表示される。

③ コントロールボタンを上下に動かして解除したいラベルを選び、中央を押す。すべてのラベルを解除したいときは、[全てのラベル]を選び、中央を押す。

選択した画像のラベルが解除され、画面下の 表示が消える。

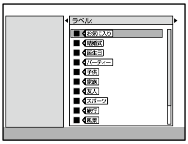
検索：絞り込み・類似画像

画像を検索します。

（絞り込み）	条件を入力して、アルバム（内蔵メモリー）内の画像を検索します。
（絞り込み解除）	絞り込み検索を解除します。
（類似画像）	選択された画像と、似ている画像を検索します。 CD-ROM（付属）内の「Album Editor」で画像解析をつけた画像が対象です。

画像を絞り込むには

① コントロールボタンで［ ］（絞り込み）を選び、中央を押す。
絞り込みの項目を選ぶ画面が表示される。



② コントロールボタンを左右に動かして絞り込みの項目を選び、上下に動かして条件を選び、中央を押す。
選んだ条件が左側の枠内に確定される。
ラベル：［ラベル登録］で付けたラベルで絞り込む。
顔認識＊：人が映っているか、または人の多さで絞り込む。
色認識＊：黒/白/赤/青/緑/黄色で絞り込む。
属性：プロテクト入/切など、さまざまな画像の属性で絞り込む。
＊ CD-ROM（付属）内の「Album Editor」で画像解析をつけた画像が対象です。

③ MENUボタンを押す。
絞り込みメニューが表示される。

④ ［AND］か［OR］を選び、中央を押す。
AND：すべての条件に合ってる画像を絞り込む。
OR：どれか一つの条件に合ってる画像で絞り込む。

⑤ ［実行］を選び、中央を押す。
条件に合った画像が表示される。

絞り込みを中止するには

手順⑤で［終了］を選び、中央を押す。

絞り込み条件を設定し直すときは
手順⑤で[オールクリア]を選び、中央を押す。

似た画像を探すには

① 画像を選ぶ。

② コントロールボタンで[ ]（類似画像）を選び、中央を押す。
選択中の画像と似ているものを検索し、似ている順に表示する。

印刷

画像をプリントします。

（印刷：画像選択）	画像を選んで、プリンターで印刷します。
（印刷：この画像）	選択している画像を、プリンターで印刷します。

101ページをご覧ください。

スライドショー

ホーム画面で行う操作と同じです。
43ページをご覧ください。

インポート/エクスポート

“メモリースティック デュオ”の画像をアルバムにコピー（インポート）したり、アルバム画像を“メモリースティック デュオ”にコピー（エクスポート）したりできます。

（インポート：画像選択）	画像を選んで、“メモリースティック デュオ”から内蔵メモリーにコピーします。
（インポート：この画像）	選択している画像を、“メモリースティック デュオ”から内蔵メモリーにコピーします。
（エクスポート：画像選択）	画像を選んで、内蔵メモリーから“メモリースティック デュオ”にコピーします。
（エクスポート：この画像）	選択している画像を、内蔵メモリーから“メモリースティック デュオ”にコピーします。

- 画像サイズが6Mよりも大きい画像をコピーしても本機では再生できません。
「Album Editor」を使うと、6Mにリサイズされます。
- オリジナル画像が存在しているときはオリジナル画像がエクスポートされ、存在していないときはアルバム画像がエクスポートされます。

操作方法は29ページ

画像を選択してコピーするには

① コントロールボタンで[ ]（インポート：画像選択）または[ ]（エクスポート：画像選択）を選び、中央を押す。

② 画像を選ぶ（25ページ）。

③ MENUボタンを押し、メニューを表示する。

④ [実行]を選び、中央を押す。
画像がコピーされる。

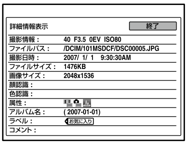
画像を1枚コピーするには

① 画像を選ぶ。

② コントロールボタンで[ ]（インポート：この画像）または[ ]（エクスポート：この画像）を選び、中央を押す。
画像がコピーされる。

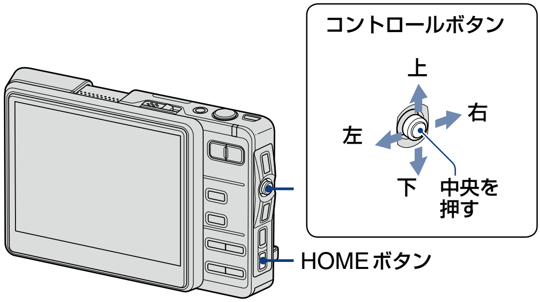
詳細情報表示

選択している画像の詳細データを表示します。



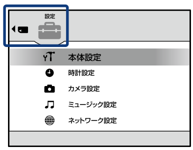
設定を変更するときの操作方法

ホーム画面の[ ]（メディアツール）、[ ]（設定）で、本機のお買い上げ時の設定を変更できます。



1 HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。

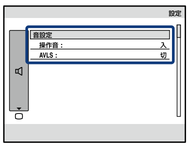
2 コントロールボタンを左右に動かし、[ ]（メディアツール）または[ ]（設定）を選ぶ。



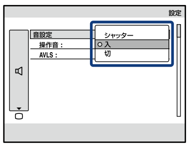
3 コントロールボタンを上下に動かし、設定したい項目を選び、中央を押す。

- [ ]（設定）の[本体設定]を選んだときは、コントロールボタンを上下に動かして[音設定]、[画面設定]、[一般設定]を選びます。

4 コントロールボタンを右に動かして、項目選択画面に移動し、コントロールボタンを上下に動かして、項目を選び、中央を押す。



5 コントロールボタンを上下に動かして、設定項目を選び、中央を押して設定する。



設定変更を中止するには

[キャンセル]が選択項目にある場合は，それを選んでコントロールボタンの中央を押す。ない場合は、設定し直す。

• 選んだ設定は、電源を切ってからも保持されます。

操作方法は56ページ

全般

お買い上げ時の設定は✓で示しています。

メディア使用量表示

記録メディアの使用量を画面に表示します。

ファイルナンバー

撮影画像のファイルナンバーの付けかたを設定します。

✓	**連番**	フォルダを変更したり、“メモリースティック デュオ”を取り換えても、ファイル番号を連続して付ける。（取り換えた“メモリースティック デュオ”内に最新ファイルより大きな番号のファイルがある場合は、既存の最大番号+1のファイル番号を付ける。）
	リセット	フォルダごとにファイル番号を0001から付ける。（フォルダ内にファイルがある場合は、既存最大番号＋1のファイル番号を付ける。）

記録優先メディア

“メモリースティック デュオ”が挿入されているとき、オリジナル画像を優先で記録するメディアを設定します。

✓	**メモリースティック**	“メモリースティック デュオ”にオリジナル画像を記録する。
	内蔵メモリー	内蔵メモリーにオリジナル画像を記録する。

アルバムチェック

アルバムがうまく表示されないとき、データベースを修復します。

• 充分に充電したバッテリーまたはサイバーショットステーションに設置してACアダプターでご使用ください。

① コントロールボタンで[アルバムチェック]を選び、中央を押す。
「アルバムのデータを修復します」というメッセージが表示される。

② [実行]を選び、中央を押す。
アルバムチェックが始まる。

アルバムチェックを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央を押す。

操作方法は56ページ

メモリースティック

フォーマット

“メモリースティック デュオ”をフォーマット（初期化）します。市販の“メモリースティック デュオ”はフォーマット済みのため、フォーマットの必要はありません。

• フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① コントロールボタンで［フォーマット］を選び、中央を押す。
「メモリースティックのデータが全て消去されます」というメッセージが表示される。

② ［実行］を選び、中央を押す。
フォーマットが実行される。

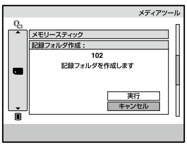
フォーマットを中止するには

手順②で、［キャンセル］を選び、中央を押す。

記録フォルダ作成

“メモリースティック デュオ”の中に新しいフォルダを作成します。

① コントロールボタンで［記録フォルダ作成］を選び、中央を押す。
「記録フォルダを作成します」というメッセージが表示される。



② ［実行］を選び、中央を押す。
既存番号＋1のフォルダが作成される。次に撮影する画像は新しく作成したフォルダに記録される。

記録フォルダ作成を中止するには

手順②で、［キャンセル］を選び、中央を押す。

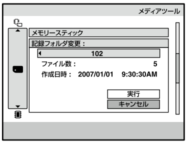
• フォルダを新規作成していない場合は、「101」フォルダが記録フォルダとして設定されます。
• フォルダは最高で「999」まで作成できます。
• 画像は、違うフォルダを選ぶか、更に新しいフォルダを作成するまでそのフォルダに記録されます。

- 一度作成したフォルダを本機では削除できないため、パソコンなどで削除してください。
- 1つのフォルダに記録できる画像は最大4000枚のため、フォルダ容量を超えると、自動的に新しいフォルダが作成されます。
- 「画像ファイルの保存先とファイル名」（90ページ）もご覧ください。

記録フォルダ変更

画像を記録するフォルダを変更します。

① コントロールボタンで[記録フォルダ変更]を選び、中央を押す。
記録フォルダ選択画面が表示される。



② フォルダ番号を選び、コントロールボタンを左右に動かして記録フォルダを選ぶ。
③ [実行]を選び、中央を押す。

記録フォルダ変更を中止するには

手順②または③で、[キャンセル]を選び、中央を押す。

- 「100」フォルダは記録フォルダとして選べません。
- 記録した画像を別のフォルダには移動できません。

内蔵メモリー

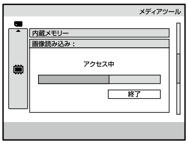
画像読み込み

Mass Storage接続により、「Album Editor」（付属）を使わないで内蔵メモリーに直接コピーした画像を、アルバム表示できるように、アルバムに読み込みます。

- 充分に充電したバッテリーまたはサイバーショットステーションに設置してACアダプターでご使用ください。残量の少ないバッテリーを使用して画像ファイルをコピーすると、バッテリー切れのため、データを転送できなかったり、データを破損するおそれがあります。

① コントロールボタンで[画像読み込み]を選び、中央を押す。
「登録されてない画像を取り込みます」というメッセージが表示される。

② [実行]を選び、中央を押す。
画像の読み込みが開始される。



コピーを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央を押す。

フォーマット

内蔵メモリーの管理領域をフォーマット（初期化）し、工場出荷時に戻します。保存されている画像やアルバム、音楽などのデータはすべて消去されます。

- フォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。「Album Editor」を使ってパソコンにバックアップしておくと、その時点のデータに復元できます。

① コントロールボタンで[フォーマット]を選び、中央を押す。
「内蔵メモリーのデータが全て消去されます」というメッセージが表示される。

② [実行]を選び、中央を押す。
フォーマットが実行される。

フォーマットを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央を押す。

フルフォーマット

内蔵メモリーのデータを完全に消去/初期化します。
[フォーマット]では内蔵メモリーのデータは完全には消去されないことがあります。
本機を廃棄/譲渡するときは、フルフォーマットすることをおすすめします。

- 充分に充電したバッテリーまたはサイバーショットステーションに設置してACアダプターでご使用ください。
- フルフォーマットすると、プロテクトしてある画像も含めて、すべてのデータが消去され、元に戻せません。

① コントロールボタンで[フルフォーマット]を選び、中央を押す。
「内蔵メモリーのデータが全て消去されます」というメッセージが表示される。

② [実行]を選び、中央を押す。
フルフォーマットが実行される。

フルフォーマットを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央を押す。

- フルフォーマットは、数分かかる場合があります。

操作方法は56ページ

本体設定 − 音設定

お買い上げ時の設定は✔で示しています。

操作音

本機を操作したときに鳴るブザーを設定します。

	シャッター	シャッターボタンを押したときのみ、シャッター音が鳴る。
✔	**入**	コントロールボタン/シャッターボタンを押したときなどに、ブザー/シャッター音が鳴る。
	切	音は鳴らない。

AVLS

音モレや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がらないように設定できます。ヘッドホンからの音モレを防ぐときにも便利です。

	入	最大音量を抑える。
✔	**切**	使わない。

• AVLSとは、「Automatic Volume Limiter System」の略です。

操作方法は56ページ

本体設定 – 画面設定

お買い上げ時の設定は ✔ で示しています。

言語

画面に表示される言語を設定します。

✔	**日本語**	日本語で表示。
	ENGLISH	英語で表示。

ホームデザイン

ホーム画面のデザインを変更します。

✔	**デザイン1**	ホーム画面の背景を黒にする。
	デザイン2	ホーム画面の背景を白にする。

機能ガイド

本機を操作したときに、機能の説明が表示されます。

✔	**入**	機能ガイドを表示する。
	切	機能ガイドを表示しない。

LCD明るさ

液晶画面の明るさを設定します(バッテリー使用時のみ)。

	明	明るくする。
✔	**標準**	

- DISP(画面表示切り換え)ボタンを長押ししても変更できます。
- [明]に設定すると、バッテリーの消耗は早くなります。

操作方法は56ページ

本体設定 － 一般設定

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

設定リセット

お買い上げ時の設定に戻します。

① コントロールボタンで[設定リセット]を選び、中央を押す。
「全ての設定内容をリセットします」というメッセージが表示される。

② [実行]を選び、中央を押す。
設定リセットが実行される。

設定リセットを中止するには

手順②で、[キャンセル]を選び、中央を押す。

• 設定リセット中は電源が切れないようにご注意ください。

USB接続

本機とパソコンまたはPictBridge対応プリンターをUSBケーブルで接続するときのモードを設定します。

	PictBridge	本機とPictBridge対応プリンターを接続する(101ページ)。
	Mass Storage	本機とパソコン、その他USB機器をMass Storage接続する(89ページ)。
✓	**オート**	本機がパソコン、またはPictBridge対応プリンターを自動認識して接続する(89、101ページ)。 • [オート]で本機とPictBridge対応プリンターを接続できない場合は、[PictBridge]に設定し直してください。 • [オート]で本機とパソコン、その他USB機器を接続できない場合は、[Mass Storage]に設定し直してください。

☞ 操作方法は56ページ

ビデオ信号出力

接続するビデオ機器のカラーテレビ方式に合わせて設定します。

✓	NTSC	ビデオ信号出力をNTSCモードに設定する(日本、米国など)。
	PAL	ビデオ信号出力をPALモードに設定する(欧州など)。

 操作方法は56ページ

時計設定

時計設定

時刻を再設定します。



① コントロールボタンで[エリア]を選び、設定する。
② [サマータイム]を選び、設定する。
  • 日本国内で使用するときは、[切]を選ぶ。
③ [日付表示順]を選び、設定する。
④ 日時、日付の各項目を設定する。
⑤ [実行]を選び、中央を押して決定する。

時計設定を中止するには

[キャンセル]を選び、中央を押す。

• 世界時刻表は、121ページをご覧ください。
• サマータイムとは、夏の一定期間、日照時間を有効に使うために時計を標準時間より進める制度で、欧米諸国では広く採用されています。
本機で[サマータイム]を[入]にすると、時計が1時間進みます。

カメラ設定

お買い上げ時の設定は ✔ で示しています。

画像サイズ[静止画]

静止画撮影時の画素数を設定します。

✔	6M	/ 🗑 (画像サイズ)ボタンでも操作可能です。詳しくは22ページをご覧ください。
	3:2	
	3M	
	2M	
	VGA	
	16:9	

画像サイズ[動画]

動画撮影時の画素数を設定します。

✔	640×480	/ 🗑 (画像サイズ)ボタンでも操作可能です。詳しくは22ページをご覧ください。
	320×240	

AFモード

自動ピント合わせ(オートフォーカス)の種類を選びます。

✔	**シングル**	シャッターボタンを半押しすると自動ピント合わせする。動きのない被写体を撮影するときに便利。
	モニタリング	シャッターボタンを半押しする前から自動ピント合わせする。ピント合わせの時間を短くできる。 • [シングル]よりもバッテリーの消耗が早くなります。

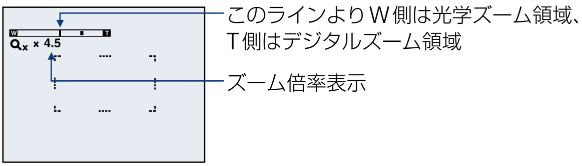
デジタルズーム

デジタルズームの設定をします。本機はレンズの倍率(3倍)まで光学ズームを行い、それを超えるとデジタルズームを行います。

✔	**入**	画像サイズの設定に関わらず、最大6倍までデジタルズームしますが、画像は劣化します。
	切	デジタルズームを使わない。

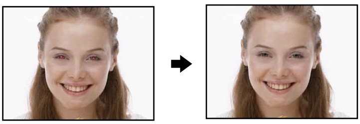
操作方法は56ページ

- ズームボタンを押すと、下記のようなズーム倍率が表示されます。



- デジタルズームの最大倍率は、光学ズームの倍率を含みます。
- AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。

赤目軽減



フラッシュ撮影時、目が赤く写るのを抑制します。設定後、撮影します。

	入	赤目軽減する。 • フラッシュが2回予備発光します。
✓	**切**	赤目抑制しない。

- シャッターが切れるまで約1秒かかるので、カメラをしっかり構えて手ぶれを防いでください。また、被写体が動かないようにしてください。
- 赤目軽減の効果には個人差があります。また被写体までの距離や、予備発光を見ていないなどの条件によって、効果が表れにくいことがあります。

AFイルミネーター

AFイルミネーターとは、暗所でフォーカスを合わせるための補助光です。シャッターボタンを半押ししてフォーカスがロックされるまでの間、自動的に赤い補助光が出て、フォーカスを合わせやすくします。このとき画面に ON が表示されます。

✓	**オート**	AFイルミネーターを使う。
	切	使わない。

- AFイルミネーターを発光しても、充分な光が被写体に届かない場合（推奨距離：約2.7 m（ズーム：W）まで/約2.5 m（ズーム：T）まで）やコントラストが弱い被写体を撮影する場合、フォーカスは合いません。
- AFイルミネーターの光が画像の中心からずれる場合がありますが、光が被写体に届いていれば、フォーカスは合います。

操作方法は56ページ

- フォーカスプリセット（35ページ）のとき、AFイルミネーターは使えません。
- AFイルミネーターを使用するときは、AF測距枠設定は無効になり、AF測距枠は点線で表示されます。中央付近の被写体を優先したAF動作になります。
- シーンセレクションが（手持ち夜景モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（高速シャッターモード）、（打ち上げ花火モード）に設定されているときは、AFイルミネーターは発光しません。
- AFイルミネーターは明るい光です。安全には問題ありませんが、至近距離で直接人の目に当たらないようにお使いください。

手ブレ補正

手ぶれ補正の種類を選びます。

✓	**撮影時**	シャッターボタンを半押しすると手ぶれ補正が働く。
	常時	常に手ぶれ補正が働く。遠くを拡大して撮影するときでも構図を安定させることができます。 • [撮影時]よりもバッテリーの消費が早くなります。
	切	使わない。

- 動画では、[撮影時]を選んでも、[常時]の状態で手ぶれ補正します。
- 下記の場合は、手ぶれが補正しきれないことがあります。
  – 手ぶれが大きすぎる
  – 夜景撮影時など、シャッタースピードを遅くして撮影するとき

縦横判別

縦位置で撮影したとき回転情報を記録して、画像を縦に表示します。

✓	**入**	画像の縦横を判別して記録する。
	切	使わない。

操作方法は56ページ

♫ ミュージック設定

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

リピート

音楽の再生方法を設定します。

	シャッフルリピート	「MUSIC」フォルダの中の音楽データをランダムに繰り返し再生する。
	1曲リピート	1曲を繰り返し再生する。
	リピート	「MUSIC」フォルダの中の音楽データを順番通りに繰り返し再生する。
✓	切	リピートしない。

MEGA BASS

低音を強調します。

	レベル2	低音を強調する。
	レベル1	
✓	切	使わない。

LCD自動オフ

音楽再生時、約10秒間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐために液晶画面が自動で消えます。(バッテリー使用時のみ)

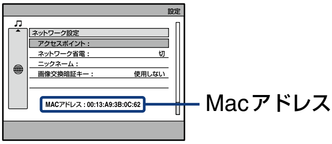
	入	液晶画面を消す。
✓	切	液晶画面を消さない。

ネットワーク設定

お買い上げ時の設定は ✓ で示しています。

MACアドレスについて

本機には無線機器として1台に1つずつ固有のMACアドレスが割り当てられています。お使いのアクセスポイントによっては、接続を許可するために本機のMACアドレスをアクセスポイントに登録する必要があります。詳しくは、アクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

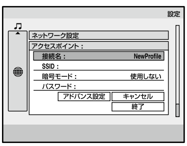


アクセスポイント

ワイヤレスLANアクセスポイントのプロファイルを作成/編集します。
通常は、[自動検索]でアクセスポイントの設定ができますが、アクセスポイントが検出できない場合は、下記の手順で設定してください。
3つまで登録できます。

アクセスポイントを設定するには

① コントロールボタンで[アクセスポイント]を選び、中央を押す。
② [新しい接続を作成]を選び、中央を押す。
③ [手動設定]を選び、中央を押す。
　設定画面が表示される。

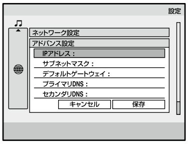


④ 下記の項目を設定する。

接続名	任意の接続名を入力する。16文字まで。
SSID	アクセスポイントの識別子を入力する。32文字まで。
暗号モード	暗号モードを以下の設定から選ぶ。 [使用しない]、[WEP]、[WPA-PSK(TKIP)]、 [WPA2-PSK(AES)]
パスワード	パスワードを入力する。64文字まで。

接続名/SSID/暗号モード/パスワードに関しては、使用するアクセスポイントにあわせて設定してください。

⑤ DHCP設定も設定する場合は、[アドバンス設定]を選び、中央を押す。
アドバンス設定画面が表示される。



⑥ 下記の項目を設定し、[保存]を選び、中央を押す。
IPアドレス/サブネットマスク/デフォルトゲートウェイ/プライマリDNS/セカンダリDNS

• 接続の方法について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントの取扱説明書をご覧ください。

⑦ [保存]を選び、中央を押す。
登録した情報が表示される。

⑧ [終了]を選び、中央を押す。

接続テストを実行するには

手順⑧で[接続テスト]を選び、中央を押す。

アクセスポイントを編集するには

① 手順②で編集したいアクセスポイントを選び、MENUボタンを押す。

② [編集]を選び、中央を押し、手順④以降を実行する。

アクセスポイントを削除するには

① 手順②で削除したいアクセスポイントを選び、MENUボタンを押す。

② [削除]を選び、中央を押す。

設定

ネットワーク省電

ネットワーク接続時、電力の消費を抑えます。

✓	**入**	データの送受信を行わないときに、電力消費を抑えます。
	切	省電力機能を使わない。

- 下記の場合は[切]にしてください。
  –アクセスポイントに接続できないとき
  –ネットワーク接続に不具合が発生するとき

ニックネーム

ワイヤレス接続時、他機に表示される本機のニックネームを設定します。
93ページをご覧ください。

画像交換暗証キー

コラボショット/ピクチャーギフトでカメラ同士を接続する際に暗証キーの使用を設定/編集します。

	使用する	暗証キーを使用する。
✓	**使用しない**	使わない。
	編集	暗証キーを編集する。出荷時は「000000」が設定されています。

暗証キーを編集するには

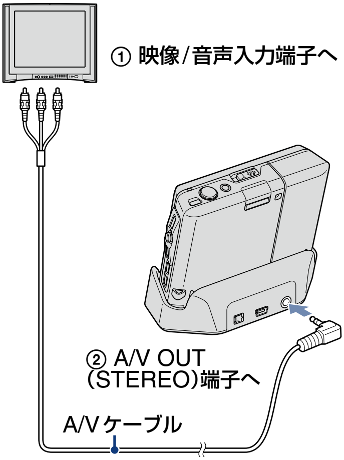
① コントロールボタンで[画像交換暗証キー]を選び、中央を押す。
② [編集]を選び、中央を押す。
③ 6桁の英数字を入力する。
④ [OK]を選び、中央を押す。

テレビで見る

本機とテレビをつないで、撮影した画像をテレビで見ることができます。

本機とテレビの電源を切った状態で接続してください。

1 本機とサイバーショットステーション、テレビを接続する。

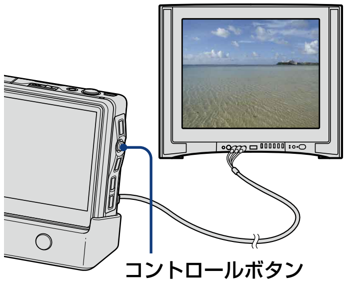


- テレビの音声入力端子がモノラルタイプのときはA/Vケーブルの黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグか赤いプラグのどちらかを音声入力へつないでください。音声は、白いプラグをつなぐと左音声が、赤いプラグをつなぐと右音声が聞こえます。
- サイバーショットステーションにUSBケーブルが接続されている場合は、取りはずしてください。

2 テレビの電源を入れ、テレビ/ビデオ切り換えスイッチを「ビデオ」にする。

- 詳しくは、テレビの取扱説明書をご覧ください。

3 本機の電源を入れる。

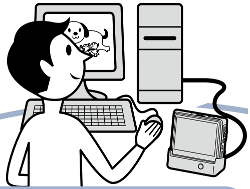


撮影した画像がテレビに表示される。

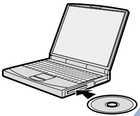
コントロールボタンを左右に動かして画像を選ぶ。

- ご使用のテレビによっては、本機の画面表示に出る文字やアイコンが欠ける場合があります。
- 海外で見るときは[ビデオ信号出力]の切り換えが必要な場合があります（66ページ）。

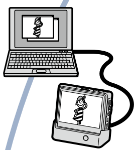
Windowsパソコンでできること



まずはソフトウェア(付属)をインストールしよう！（78ページ）

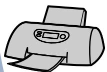


「Album Editor」、「Picture Motion Browser」で活躍の場を広げよう！（79、83ページ）



- アルバムや画像のプロパティ編集
- 画像のパソコンへのコピー
- パソコンの画像を本機に取り込む
- 本機にMPEG4の動画を転送する
- 検索情報を付ける
- 本機のデータをバックアップしておき、その時点のデータに復元する(リストア)。

- 画像をパソコンで見る
- パソコン内の画像を見る
- 撮影日ごとにまとめられた写真を見る
- 画像を編集する



- 撮影した画像の位置を地図上に表示する(別売のGPSユニットキットおよび、インターネット接続環境が必要です)
- データディスクを作成する(書き込み型CDドライブまたはDVDドライブが必要です。)
- 画像に日付を挿入して保存/印刷する

パソコンの推奨環境

本機とつなぐパソコンは、下記の推奨環境が必要です。

「Album Editor」、「Picture Motion Browser」使用時の推奨環境

OS（工場出荷時にインストールされていること）：Microsoft Windows 2000 Professional（SP4以降必須）/XP Home Edition/XP Professional

サウンドカード：16 bitステレオサウンドカードおよびスピーカー

CPU/メモリ：Pentium Ⅲ 1 GHz以上/RAM 256 MB以上

必要なソフトウェア：DirectX 9.0c以降

ハードディスク：インストール時に必要な容量：約200 MB

ディスプレイ：1024×768 ドット以上、High Color（16 bitカラー）以上

- 本ソフトウェアはDirectXテクノロジーに対応しているため、DirectXのインストールが必要になることがあります。

動画（MPEG-4）再生時のご注意

本機で撮影してパソコンに取り込んだ動画ファイル（MPEG-4）の再生には、「Picture Motion Browser」が必要です。

また、カメラ内の動画ファイルは、「Album Editor」を使えば再生可能です。

パソコン接続についてのご注意

- 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
- 1台のパソコンで2台以上のUSB機器を接続している場合、同時に使用するUSB機器によっては、本機が動作しないことがあります。
- USBハブ経由でご使用の場合は、動作保証いたしません。
- Hi-Speed USB（USB2.0準拠）のため、対応のUSBインターフェースに接続すると、高速な転送（high-speed転送）が行えます。
- パソコンと接続するときの本機のUSBモードには[オート]（お買い上げ時の設定）、[Mass Storage]の2種類があります。
- パソコンがサスペンド・レジューム機能、またはスリープ機能から復帰しても、通信状態が復帰できないことがあります。

サイバーショットオフィシャルWEBサイトでは、パソコンとの接続方法やソフトウェアなどの最新サポート情報をご覧いただけます。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

ソフトウェア(付属)をインストールする

下記の手順で、ソフトウェア(付属)をインストールします。

- コンピュータの管理者権限でログオンしてください。

1 パソコンの電源を入れた状態で、CD-ROM(付属)をCD-ROMドライブに入れる。

インストール画面が表示される。



- インストール画面が表示されないときは、(マイコンピュータ)→(SONYPICTUTIL)の順にダブルクリックする。

2 [インストール]をクリックする。

「言語の選択」画面が表示される。

3 [日本語]を選び、[次へ]をクリックする。

「地域設定」が表示される。

4 エリアと[国/地域]を選び[次へ]をクリックする。

- 「Sony Picture UtilityのInstallShield Wizardへようこそ」と画面に表示されたら、「次へ」をクリックする。
- 使用許諾画面が表示される。
  内容をよく読み、「使用許諾契約の全条項に同意します」にチェックを入れ、[次へ]をクリックする。

5 以降、画面の指示に従ってインストールを進める。

カメラをパソコンに接続する指示が出たら、89ページのように本機とパソコンを接続してください。

- パソコンの再起動を求める画面が表示された場合は、画面の指示に従って再起動してください。
- 使用環境によって、DirectXが引き続きインストールされることがあります。

6 インストール後、パソコンからCD-ROMを取り出す。



インストールすると、デスクトップ上にソニー製品カスタマー登録WEBサイトのショートカットが表示されます。

- カスタマー登録していただくと安心・便利な各種サポートが受けられます。
  http://www.sony.co.jp/di-regi/



インストールすると、デスクトップ上にSony マイページのショートカットが表示されます。

- マイページではお持ちの登録製品に合わせたサポート情報をご覧いただけます。
  http://www.sony.co.jp/mypage

「Album Editor」（付属）で楽しむ

パソコン上からカメラ内にある画像のプロパティやアルバムの構成などを編集したり、より検索しやすくするために「Album Editor」が収録されています。ここでは「Album Editor」の概要と、基本的な利用方法を紹介します。

「Album Editor」のご紹介

「Album Editor」をご利用されると、次のことができます。

- アルバムや画像のプロパティ編集
- 画像のパソコンへのコピー
- パソコンの画像を本機に取り込む
- 検索情報を付ける
- 本機のデータをバックアップしておき、その時点のデータに復元する（リストア）。
- 本機にMPEG4の動画を転送する
  本機では、下記のMPEG4動画フォーマットに対応しています。
  –メモリースティックビデオフォーマット
  –QVGA 15fps（384kbps）、QVGA 30fps（768kbps）、VGA 30fps（3Mbps）の動画ファイル
  ただし、一部の機器、ソフトウェアで作成された動画は再生できないことがあります。
- 詳しいご利用方法については、ヘルプをご覧ください。

ヘルプを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム]（Windows 2000では[プログラム]）→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[Album Editor]の順にクリックします。

「Album Editor」を起動/終了するには

起動する

USBケーブル（付属）でパソコンとサイバーショットステーションを接続し、サイバーショットステーションのCONNECTボタンを押す。メイン画面が表示されます。



終了する

画面右上の[☒]ボタンをクリックする。

基本的な操作方法

画像のプロパティ編集

メイン画面で画像を選び、ダブルクリック。

プロパティ画面が出る。



コメント入力やラベル編集ができます。

アルバムのプロパティ編集

メイン画面でアルバムを選んで右クリックして、[プロパティ]を選ぶ。

プロパティ画面が出る。



アルバム名、コメントの入力、日時の設定ができます。

画像をパソコンに取り込む

カメラ内にある画像をすべて取り込みます。
すでに取り込んだことがある画像は取り込まれません。取り込んでいない画像のみ取り込みます。

1 メイン画面の[取り込み]をクリック。

取り込み確認画面が表示される。



2 [OK]をクリック。

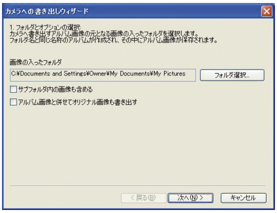
アルバムごとに取り込む場合は、アルバムを選んでから[編集]→[アルバム]→[コンピューターへコピー]を選ぶ。

パソコンの画像をカメラに取り込む

パソコンの画像を本機にコピーすることができます。

1 メイン画面の[ファイル]→[カメラへの書き出し]をクリック。

書き出しウィザード画面が表示される。



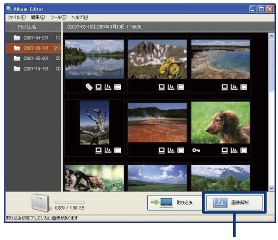
2 カメラに書き出す画像の入ったフォルダを選び、[次へ]をクリック。

3 日時の指定ルールを選び、[OK]をクリック。

検索情報を付ける

検索情報を付けると、本機での「検索」機能を更に使いこなすことができるようになります。

メイン画面の[ファイル]→[画像解析]をクリック。



画像解析

本機のデータすべてをバックアップする

カメラ内のデータが破損したときのために、定期的にバックアップをすることをおすすめします。

1 ツールメニューから、「バックアップ」を選ぶ。

2 保存先を選ぶ。

3 [OK]をクリック。

カメラ内のすべてのデータが保存されます。

バックアップした時点のデータに戻す(リストア)

カメラとパソコンを接続したときにカメラ内のデータに異常がある場合は、エラーメッセージが表示されます。

1 **[スタート]→[すべてのプログラム](Windows 2000では[プログラム])→[Sony Picture Utility]→[G1 Restore Tool]をクリック。**

2 **バックアップしたファイルを選ぶ。**

3 **「OK」をクリック。**

リストアが始まる。リストアは途中で中止できません。

その他の機能

その他、下記の機能などがあります。

- アルバムを分割する。
- ラベルの編集
- 画像の削除/プロテクト
- 詳しいご利用方法については、ヘルプをご覧ください。

「Album Editor」をアンインストールするには

1 [スタート]→[コントロールパネル](Windows 2000では[スタート]→[設定]→[コントロールパネル])より[プログラムの追加と削除]をダブルクリック。

2 [Album Editor]を選択し、[削除](Windows 2000では[変更と削除])をクリックしてアンインストールを実行する。

「Picture Motion Browser」(付属)で楽しむ

本機で撮影した静止画や動画をより いっそうご活用いただくために、「Picture Motion Browser」が収録されています。ここでは、「Picture Motion Browser」の概要と、基本的な利用方法を紹介します。

「Picture Motion Browser」のご紹介

「Picture Motion Browser」をご利用されると、次のことができます。

- パソコンにある画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して、閲覧できます。
- 静止画の補正、印刷、メール送信、撮影日時の変更などの活用ができます。
- GPSユニットキット(別売)を利用すれば、撮影した画像の位置を地図上に表示することができます。
- 画像に日付を挿入して保存/印刷ができます。
- 書き込み型CDドライブまたはDVDドライブでデータディスクを作成できます。
- 詳しいご利用方法については、ヘルプをご覧ください。

ヘルプを起動するには、[スタート]→[すべてのプログラム](Windows 2000では[プログラム])→[Sony Picture Utility]→[ヘルプ]→[Picture Motion Browser]の順にクリックします。

「Picture Motion Browser」を起動/終了するには

起動する

デスクトップ上の[Picture Motion Browser]をダブルクリックする。
スタートメニューから起動するときは、[スタート]→[すべてのプログラム](Windows 2000では[プログラム])→[Sony Picture Utility]→[Picture Motion Browser]の順にクリックする。

- 初回起動時にお知らせ通信機能の確認画面が表示されます。[実行開始]を選択してください。この機能は、ソフトウェアの更新などのお知らせがある場合に通知をおこないます。

終了する

画面右上の[×]ボタンをクリックする。

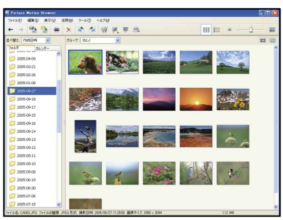
基本的な操作方法

本機の画像をパソコンに表示する方法を説明します。

画像の閲覧

1 取り込んだ画像を確認する。

「Picture Motion Browser」を起動すると、取り込んだ画像のサムネイルが表示されます。



パソコンで楽しむ

- 初期設定では、「閲覧フォルダ」として「マイ ピクチャ」フォルダが設定されています。
- サムネイル画像をダブルクリックすると1枚で表示されます。

2 「閲覧フォルダ」の画像を、撮影日ごとにカレンダー上に整理して見る。

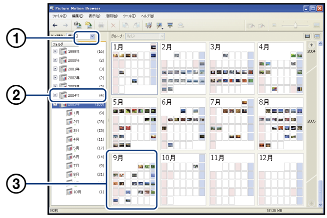
① [カレンダー]タブをクリックする。
画像が撮影された年の一覧が表示されます。

② 年の項目をクリックする。
その年に撮影された画像が、年単位で撮影日ごとにカレンダー表示されます。

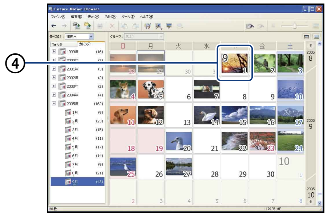
③ 月表示するときは、見たい月の部分をクリックする。
その月に撮影されたサムネイル画像が表示されます。

④ 撮影時間ごとの画像を表示したいときは、見たい日にちの部分をクリックする。
その日に撮影されたサムネイル画像が、撮影時間ごとに表示されます。

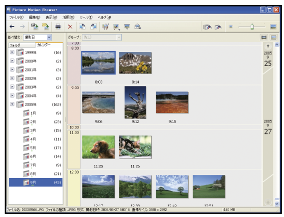
[年表示画面]



[月表示画面]



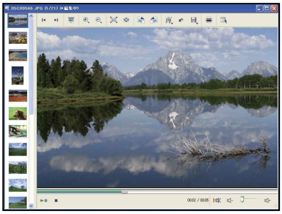
[時間表示画面]



- 画面左の年、または月の項目をクリックすると、その年、またはその月の撮影画像の一覧画面が表示されます。

3 個々の画像を表示する

時間表示画面で、サムネイル画像をダブルクリックすると、別ウィンドウが起動し、その画像が一枚表示されます。



• ツールバーの[ ]ボタンから、表示されている画像を編集できます。

画像を全画面表示にする

[ ]ボタンを押すと、閲覧している画像が全画面のスライドショーで再生されます。



• スライドショーの再生/一時停止を行うには、画面左下の[ ]ボタンを押します。
• スライドショーを終了するには、画面左下の[×]ボタンを押します。

データディスクを作成する

画像をCDまたはDVDにデータディスクとして保存することができます。

• 書き込み型CDドライブまたはDVDドライブが必要です。
• データディスク作成に使用できるディスクは以下の通りです。
  – CD-R/RW(12cm)
  – DVD±R/RW(12cm)
  – DVD+R DL(12cm)

1 ディスクに保存したい画像を選ぶ。

• 連続している複数の画像を選ぶには、最初の画像をクリックし、「Shift」キーを押しながら最後の画像をクリックします。連続していない複数の画像を選ぶには、「Ctrl」キーを押しながらクリックします。

2 ツールバーの[ ]ボタンをクリックする。「データディスクの作成」画面が表示されます。

3 [作成開始]をクリックする。

4 以降、画面の指示に従ってデータディスク作成する。

• 「データディスク作成」画面に希望の画像をドラッグ&ドロップして追加することもできます。

パソコンで楽しむ

フォルダ内のすべての画像を選択するには

[フォルダ]タブをクリックし、希望のフォルダアイコンを右クリックして[データディスク作成]を選択すると、フォルダ内のすべての画像を選択することができます。

マップビューを使って画像を地図上で確認する

マップビューを使うと位置情報を持つ静止画の撮影位置を、地図上に表示することができます。

GPSユニット(別売)をご利用になると、簡単に撮影位置情報を取得して静止画に位置情報をつけることができます。

• マップビュー機能をご利用になるには、お使いのパソコンがインターネットに接続できる環境が必要です。

1 [ ]が表示されているサムネイルを選択する。

2 [ ]をクリックする。

マップビューのメイン画面が表示されます。



• 地図および航空写真はGoogle Mapsによって提供されています。

マップビューを利用して静止画に地図上から位置情報を付けることができます。詳しくはマップビューのヘルプをご覧ください。

その他の機能

日付を挿入して保存するには

1 画像をダブルクリックし、1枚表示にする。

2 [ ]ボタンをクリックして[日付挿入]を選ぶ。

3 位置や色などを選び、[OK]をクリックする。

4 [ ]ボタンをクリックして保存する。

日付を挿入して印刷するには

1 印刷したい画像を選ぶ。

2 ツールバーの[ ]ボタンをクリックする。

3 印刷オプションから[日付印刷]にチェックを入れる。

4 [印刷]をクリックする。

画像の登録情報を最新にするには

登録情報を最新にするには、[ツール]メニューから[データベースを最新の情報に更新]を選んでください。

• 更新には時間がかかります。

• 「ビューワーフォルダ」の画像のファイル名やフォルダ名を変えていると、このソフトウェアでは正しく表示することができません。この場合は、データベースを更新してください。

「Picture Motion Browser」をアンインストールするには

1 ［スタート］→［コントロールパネル］（Windows 2000では［スタート］→［設定］→［コントロールパネル］）より［プログラムの追加と削除］をダブルクリック。

2 ［Sony Picture Utility］を選択し、［削除］（Windows 2000では［変更と削除］）をクリックしてアンインストールを実行する。

i-Jumpエンジン(付属)を使う

i-Jump サービスは、本機で撮影した画像をパソコンや携帯電話に簡単に送信し、閲覧できるサービスです。
i-Jumpエンジンを使って、携帯電話やパソコンに画像を送信します。

i-Jumpエンジンを起動するには

1 **「Picture Motion Browser」で送りたい画像を選ぶ。**

2 **メニューの「活用」→「外部プログラムから開く」→「i-Jumpエンジン」の順に選ぶ。**

i-Jumpエンジンが起動します。

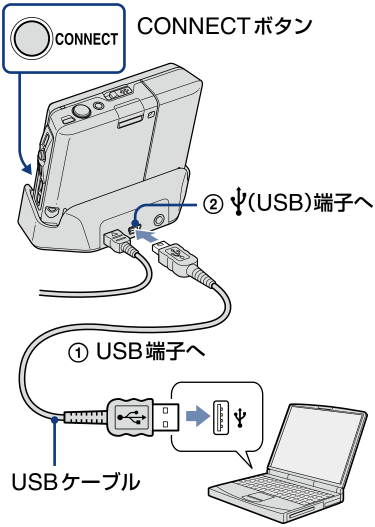
- i-Jumpエンジンの操作については、i-Jumpエンジンのヘルプをご覧ください。

i-Jump サービスのご利用には、カスタマー登録が必要です。
詳しくは、i-Jump サービスホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/i-Jump/

本機とパソコンをMass Storage 接続する

本機とパソコンをつなぐ

下記のように接続し、サイバーショットステーションのCONNECTボタンを押す。



画像をパソコンに取り込む

1 [マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]→[DCIM]の順にダブルクリック。

2 取り込みたい画像の入っているフォルダをダブルクリック。次に、取り込みたい画像ファイルを右クリックし、[コピー]をクリック。

3 [マイ ドキュメント]フォルダをダブルクリックして開く。次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。

パソコンの画像を本機に取り込む

1 [スタート]→[マイ ドキュメント]をクリック。

2 コピーしたい画像ファイルを右クリックし、[コピー]をクリック。

3 [マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]→[DCIM]の順にダブルクリック。次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。

- Mass Storage接続で本機に画像を取り込んだときは、[画像読み込み]（61ページ）を実行してください。

パソコンとの接続を切断する

以下の操作を行いたいときは、ここで説明する手順をあらかじめ行ってください。

- USBケーブルを抜く
- "メモリースティック デュオ"を取り出す
- 内蔵メモリーからのコピーを終了して、"メモリースティック デュオ"を本機に入れる
- 本機の電源を切る

1 タスクトレイの をダブルクリック。



ここをダブルクリック

2 (USB大容量記憶デバイス)→[停止]をクリック。

3 取りはずすドライブを確認して、[OK]をクリック。

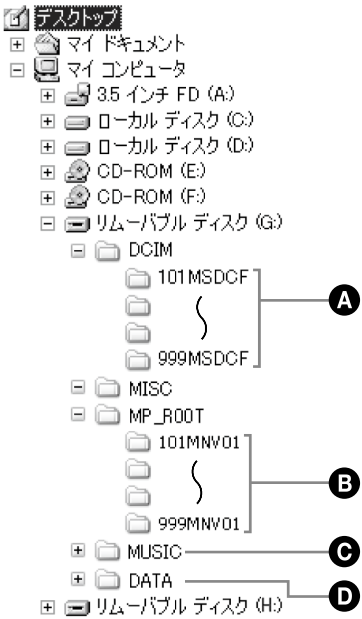
4 [OK]をクリック。

パソコンの接続が切断される。

- Windows XPをお使いの方は、手順④は不要です。

画像ファイルの保存先とファイル名

Windows XPの例



Ⓐ本機で撮影した静止画ファイル。新しくフォルダを作成していない場合は、「101MSDCF」のみです。

Ⓑ本機で撮影した動画ファイルのフォルダ。新しくフォルダを作成していない場合は、「101MNV01」のみです。

Ⓒ本機に取り込んだMP3ファイルのフォルダ。

ⒹWindowsの設定状況によっては画面に現れません。DATAフォルダ内にはアルバム情報や検索用のデータが入っており、削除・編集してしまうとアルバム表示・検索が正しく表示できなくなります。DATAフォルダ内は、削除・編集しないでください。

- 「MISC」フォルダには、本機で記録/再生できません。
- 画像ファイル名は、下記のようになります(□□□□は0001 ～ 9999の半角数字です)。
  – 静止画ファイル：DSC0□□□□.JPG
  – 動画ファイル：M4V0□□□□.MP4
- フォルダについては、46、59ページをご覧ください。

ネットワークでできること

本機には、ワイヤレスLAN機能が搭載されています。
接続には2種類あります。
ワイヤレスLAN機能の使用可能距離（DSC-G1間の距離、またはDSC-G1とアクセスポイントとの距離）は使用環境や状況によって異なります。目安として、10 ～ 30 m程度を想定しています。

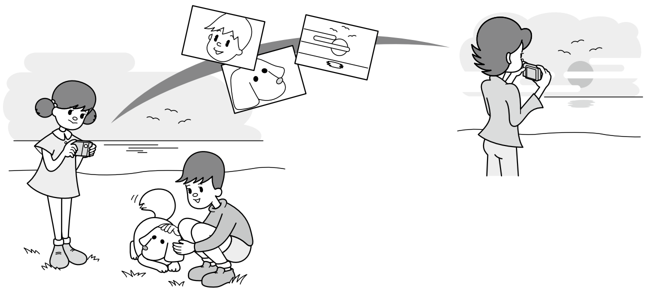
本機の情報の送信について

本機は、ワイヤレスLAN経由で他の機器とデータを通信する際に、本機固有の情報（ニックネーム名など）を接続先に送信します。

DSC-G1間で画像を交換

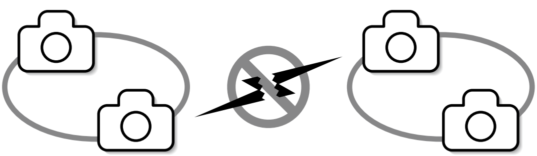
アクセスポイントを経由しないで、DSC-G1間で直接通信を行います（アドホックモード）。

• 操作の前に、ニックネームの設定が必要です（93ページ）。



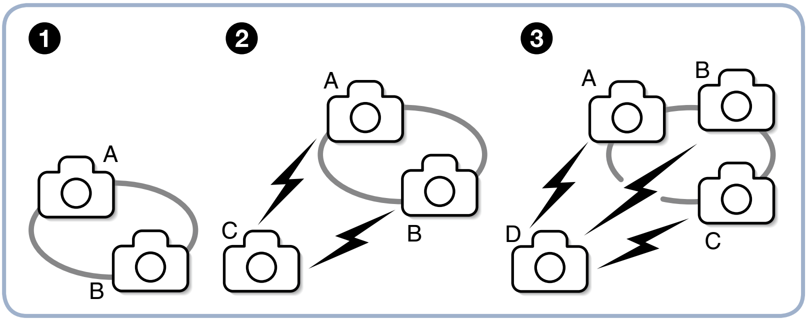
最大4台までの接続が可能です。

• 2台で作ったネットワークが2種類ある場合、ネットワークを超えての接続はできません。



4台でネットワーク接続するときは

接続認証は2台間でのみ行われます。4台同時に接続するときは、まず2台間で接続認証を行い、2台間で作ったネットワークに対して、3台目の接続認証を行ない、そのあと4台目の接続認証を行うようにしてください。



撮影と同時に、画像を転送 → コラボショット(94ページ)

相手のカメラで撮った画像、または自分のカメラで撮った画像が同時にお互いのカメラに記録されます。

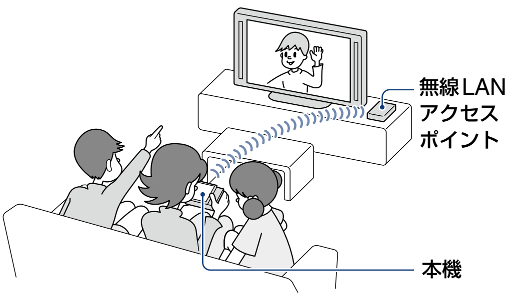
再生画面で画像を選びながら交換 → ピクチャーギフト(96ページ)

カメラに保存している画像を、相手のカメラに転送できます。

アクセスポイント(別売)経由で画像を公開(98ページ)

アクセスポイントを経由して、本機をネットワークに接続します(インフラストラクチャーモード)。

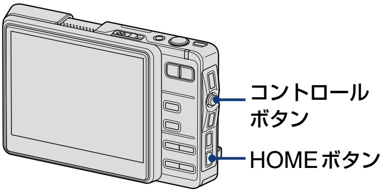
• 操作の前に、アクセスポイントの設定が必要です(72、98ページ)。



本機にニックネームをつける

本機に10文字までのニックネームをつけることができます。ワイヤレスLAN接続した他の機器から認証されたときに、この名前で表示されるます。

• 名前をつけるときは、必ず1文字以上入力してください。



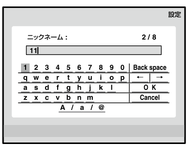
最初に接続するときは

接続用の画面が表示される前にニックネームの設定画面が表示されます。
ニックネームの設定を完了しないと、接続用の画面に移動できません。

---

1 ホーム画面から、コントロールボタンで[ ]（設定）→[ネットワーク設定]→[ニックネーム]を選び、中央を押す。

ニックネーム設定画面が表示される。



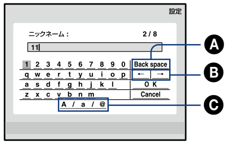
---

2 お好みのニックネームを入力し、[OK]を選び、中央を押す。

ニックネーム入力を止めるには

[Cancel]を選び、中央を押してください。この場合、ニックネームは変更されません。

文字入力ツールの使いかた



文字を入力するには

コントロールボタンで希望の英数文字を選び、中央を押す。
選んだ英数文字が入力されます。

文字の種類を変更するには

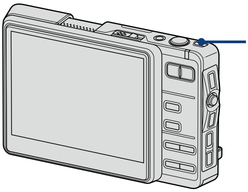
Ⓒ「A/a/@」を選ぶたびに、文字入力ツールのキーボードが「アルファベット大文字」→「アルファベット小文字」→「記号」の順に切り換わります。

文字を消すには

Ⓑ[←][→]で削除したい文字の後にカーソルを移動し、Ⓐ[Back space]を選び、中央を押してください。カーソル手前の文字が削除されます。

コラボショット

カメラで撮影した画像をワイヤレスLAN接続しているDSC-G1に自動的に送ります。画像の共有は4台間で可能です。



1 静止画撮影モードのとき、WLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押す。

ニックネームが設定されてないときは、ニックネーム設定画面（93ページ）になります。

- ホーム画面の[ ]（コミュニケーション）→[コラボショット]でも可能です。

2 「接続したい機器同士のWLANボタンを同時に押してください」画面が出るので、もう一度同時にWLANボタンを押す。

「接続中」と表示され、接続が完了すると、撮影エリアの他に、画像共有エリアが表示される。



3 3台目を接続するときは、1台目、または2台目の機器のWLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを同時に押す。

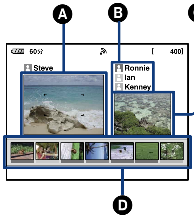
4 4台目を接続するときは、3台のいずれかと、同時にWLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押す。

5 撮影する。

接続しているカメラにも画像が取り込まれる。

コラボショットモード時の画面について

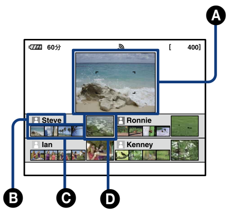
ノーマル画面



A 現在のモニター画像
B 接続中の相手一覧
それぞれ色分けして表示されます。
C 自分を含めた接続相手の最新撮影写真
D 接続相手・自分が撮った写真の履歴
⬇：ダウンロード中
⬇：ダウンロード済み
×：ダウンロード失敗

DISP（画面表示切り換え）ボタンで切り換え

マルチアングル画面



A 現在のモニター画像
B 接続中の接続相手
C 接続相手の写真の履歴
D 接続相手の最新撮影写真
⬇：ダウンロード中
⬇：ダウンロード済み
×：ダウンロード失敗

共有した画像について

- 共有した画像データは、新しいファイルとして保存されます。
- 共有した画像データは、誰が撮影したか識別するため、撮影写真の履歴の下にユーザーネームと同じ色のバーが付きます。
- 他機で撮った画像も同一アルバムに登録され、アルバム画像も作成されます。

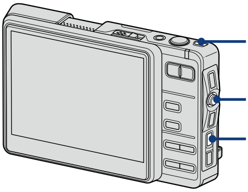
接続を終了するには

WLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを2秒以上長押しする。
WLANボタンが消灯していることを確認してください。

- コラボショット中は、連写やブラケット、動画撮影はできません。

ピクチャーギフト

カメラに保存している画像を、ワイヤレスLAN接続しているDSC-G1と交換することができます。



1 **再生モードのときWLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押す。**

ニックネームが設定されてないときは、ニックネーム設定画面（93ページ）になります。

- ホーム画面の[ ]（コミュニケーション）→[ピクチャーギフト]でも可能です。

2 **「接続したい機器同士のWLANボタンを同時に押してください」画面が出るので、もう一度同時にWLANボタンを押す。**

「接続中」と表示され、接続が完了すると、モード選択画面になる。

3 **ピクチャーギフトのモードを選び、中央を押す。**

[画像をあげる]：画像公開モード
[画像をもらう]：画像取得モード
画像公開画面画面、または取得画面が表示される。

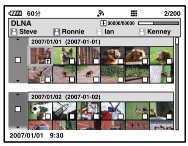
4 **3台目を接続するときは、1台目、または2台目の機器のWLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを同時に押す。**

5 **4台目を接続するときは、3台のいずれかと、同時にWLAN（ワイヤレスネットワーク）ボタンを押す。**

画像を送る

公開する画像を選ぶには

公開したい画像をコントロールボタンで選び、中央を押してください。画像に⬆マークが付き、画像の公開が始まります。



公開する側が画像を選んだ時点で、取得する側のインデックス表示領域に画像が表示されます。

やり直すときは、もう一度画像を選び、中央を押してください。画像から⬆マークが消えます。

アルバム単位で画像を公開するには

コントロールボタンでアルバムの枠を選んでください（25ページ）。アルバムすべての画像の公開が始まります。

画像を取得する

取得する画像を選ぶには

取得したい画像をコントロールボタンで選び、中央を押してください。画像に⬇マークが付き、画像の取得が始まります。
画像の取得を中止するときは、もう一度画像を選び、中央を押してください。画像から⬇マークが消えます。

アルバム単位で画像を取得するには

アルバムの枠を選んでください(25ページ)。アルバムすべての画像の取得が始まります。

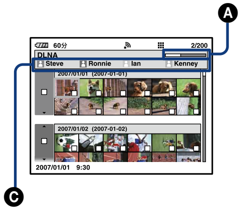
• 画像のダウンロードが完了しているときは、中止できません。

画像取得モードと画像公開モードを切り換えるには

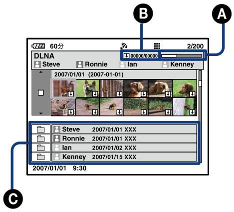
MENUボタンを押して、[画像をあげる]または[画像をもらう]を選び、中央を押す。

ピクチャーギフトモード時の画面について

公開用画面



取得用画面



A データ転送バー
B ダウンロード済み画像枚数/ダウンロード選択枚数
⬆:公開中
⬇:ダウンロード中
⬇:ダウンロード済み
C 接続中の相手一覧
それぞれ色分けして表示されます。

交換を終了するには

MENUボタンを押して、[終了]を選び、中央を押す。

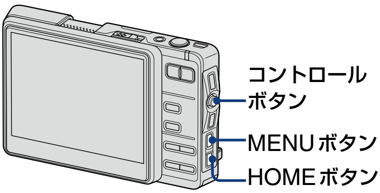
接続を終了するには

WLAN(ワイヤレスネットワーク)ボタンを2秒以上長押しする。
WLANボタンが消灯していることを確認してください。

ワイヤレスLANで見る

DLNA接続できるテレビであれば、A/Vケーブルで接続しなくても、アクセスポイントを経由してテレビで本機の画像を見ることができます。

- すでにアクセスポイントが設定されているときは、手順2～5は不要です。



1 テレビと本機の電源を入れる。

2 ホーム画面から[ ](設定)→[ネットワーク設定]→[アクセスポイント]をコントロールボタンで選び、中央を押す。

3 コントロールボタンで[自動検索]を選び、中央を押す。

検索結果が表示されます。

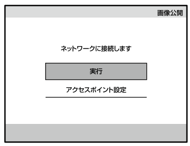
- アクセスポイントが検出されないときは、[手動設定](72ページ)を行ってください。

4 接続先を検索結果から選んで、中央を押す。

5 パスワードが必要な場合は、パスワードを入力して、[終了]を選び、中央を押す。

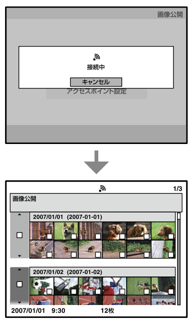
[パスワード]を選び、中央を押すと、文字入力ツールが表示される。パスワードを入力して、[決定]を選び、中央を押す。

6 ホーム画面から[ ](ツールボックス)→[画像公開]を選び、中央を押す。



7 [実行]を選び、中央を押す。

画像選択画面が表示される。



- 接続には、数秒から1分程度時間がかかる場合があります。

8 画像を選ぶ(25ページ)。

MENUボタンを押すと、公開選択画面([オールクリア]、[アルバムジャンプ]、[絞り込み]、[絞り込み解除]、[詳細情報表示])が出る。



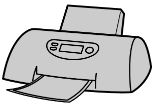
本機の画像がDLNA機器に公開されました。他のDLNA機器で本機の画像を見るには、再生機器側の設定と操作が必要です。詳しくは再生機器の取扱説明書をご覧ください。

- 本機は、フォトサーバーの機能のみ搭載しています。
- 本機はDLNAに準拠しており、VAIO Media/Loom Link/BRAVIAなどと接続できます。

静止画をプリントするには

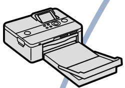
[16:9]で撮影した画像は、プリント時に両端が切れる場合があります。あらかじめご確認ください（115ページ）。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）（101ページ）



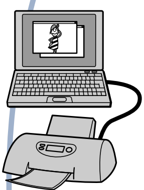
PictBridge対応プリンターに本機を直接接続してプリントします。

ダイレクトプリントする（“メモリースティック”対応プリンター使用）



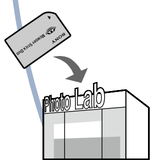
“メモリースティック”対応プリンターでプリントします。
詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンを使ってプリントする



画像をパソコンに取り込んでから、CD-ROM収録のソフトウェア「Picture Motion Browser」を使ってプリントします。
日付を入れてプリントできます（86ページ）。

お店でプリントする



プリントサービス店に、画像を撮影した“メモリースティック デュオ”を持参します。
本機には、DPOF設定機能はありません。

ダイレクトプリントする（PictBridge対応プリンター使用）

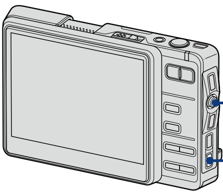
PictBridge対応プリンターなら、本機で撮影した画像をパソコンなしでプリントできます。

• 「PictBridge」は、「ピクトブリッジ」と読みます。カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格のことです。

• 動画はプリントできません。
• 本機の画面で が点滅したら（プリンターからのエラー通知）、接続しているプリンターを確認してください。

操作1：本機を準備する

本機とプリンターをUSB接続するために、本機を設定します。[USB接続]の[オート]モードで認識されるプリンターに接続する場合は、操作1は不要です。



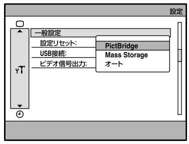
• プリントの途中で電源が切れないように、充分に充電したバッテリーまたはACアダプターのご使用をおすすめします。

1 **HOMEボタンを押し、ホーム画面を表示する。**

2 **コントロールボタンで[ ]（設定）→[本体設定]→[一般設定]を選び、中央を押す。**

3 **コントロールボタンで[USB接続]を選び、中央を押す。**

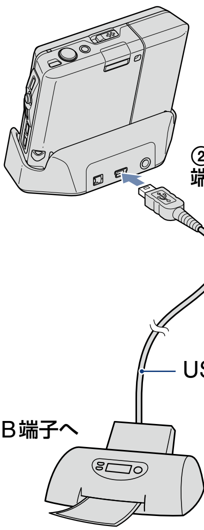
4 **[PictBridge]を選び、中央を押す。**



USB接続が設定される。

操作2：本機とプリンターをつなぐ

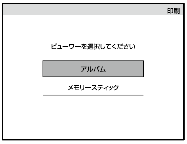
下記のように接続し、サイバーショットステーションのCONNECTボタンを押す。



操作3：プリントする

1 **本機とプリンターの電源を入れる。**

2 **アルバム画像を印刷するか、"メモリースティック デュオ"の画像を印刷するかを選択する。**



選択すると、画像選択インデックス画面が表示される。
→印刷画面を選ぶ(25ページ)

3 **コントロールボタンでプリント設定する。**



[枚数]

- [レイアウト]が[ふち無し１枚]または[ふち有り１枚]のとき：
  画像のプリント枚数を設定。シングルプリントされます。
- [レイアウト]が[ふち無し１枚]または[ふち有り１枚]以外のとき：
  選択した画像のインデックスプリント枚数を設定。

• インデックスプリント時、画像の枚数によっては、１枚の用紙に指定枚数分の画像が収まらないことがあります。

[レイアウト]
１枚のプリント用紙に何枚の画像を並べるかを選ぶ。

[用紙サイズ]
用紙サイズを選ぶ。

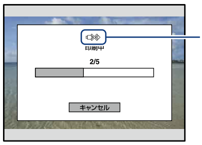
[日付]
日付を挿入するときは[年月日]または[日時分]を選ぶ。

• [日付]で[年月日]を選んだ場合、67ページで選んだ表示順の年月日が挿入されます。ただし、プリンターによっては対応していない場合があります。

4 **コントロールボタンで[実行]を選び、中央を押す。**

画像がプリントされる。

• (PictBridge接続中)マークが画面に表示されているときは、USBケーブルを抜かないでください。



(PictBridge接続中)マーク

音楽を聞くには

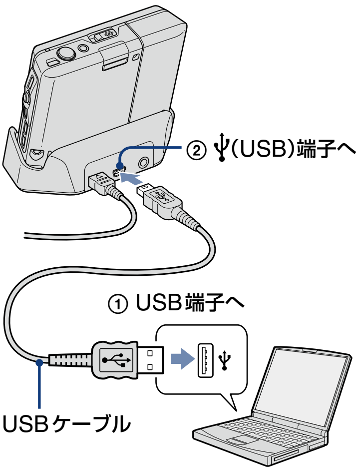
内蔵メモリー内の「MUSIC」フォルダにあるMP3ファイルを再生できます。

- 本機ではMP3ファイル形式にのみ対応しております。ATRAC3およびATRAC3plusには対応しておりません。
- 音楽CDから曲を取り込むには、対応ソフトウェアが必要です。詳しくは、ソフトウェアの解説書などをご覧ください。

本機に音楽を取り込む

「マイミュージック」に保存された音楽ファイルを取り込む例を説明します。

1 本機とパソコンをUSB接続する（89ページ）。



2 [スタート]→[マイ ミュージック]をクリック。

「マイ ミュージック」フォルダの内容が表示される。

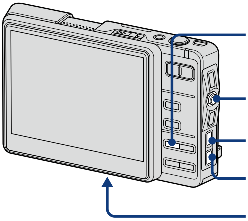
3 コピーしたい音楽ファイルを右クリックしてメニューを表示し、[コピー]をクリック。

4 [マイコンピュータ]→[リムーバブルディスク]→[MUSIC]の順にダブルクリック。
次に、右クリックでメニューを表示し、[貼り付け]を選ぶ。

「MUSIC」フォルダに音楽ファイルがコピーされる。
フォルダ構成については、90ページをご覧ください。

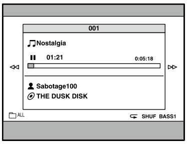
- 「MUSIC」フォルダの下には2つの階層を作ることができ、それぞれに名前を付けることができます。
  例：「MUSIC」
  –「アーティスト名」
  –「アルバム名」
  –「アルバム名」
- フォルダ内のどこにファイルを入れても再生できます。

音楽を再生する



1 ホーム画面から、コントロールボタンで[♫](ミュージック)→[♫ 音楽プレーヤー]を選び、中央を押す。

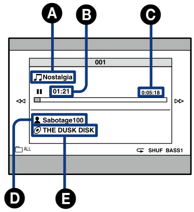
プレーヤー画面が表示される。



2 コントロールボタンの中央を押す。

前回再生を停止したところから、再生が始まる。

プレーヤー画面について



- A トラック名
- B 経過時間
- C トラック時間
- D アーティスト名
- E アルバム名

ボタン操作を無効にするには

⚡ ボタンを押す。

一時停止するには

コントロールボタンの中央を押す。

前の曲にする/次の曲にするには

コントロールボタンを左右に動かす。

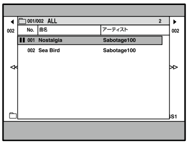
音量を調節するには

コントロールボタンを上下に動かして音量を調節する。

曲を選ぶには

① MENUボタンを押してメニューを表示する。

② コントロールボタンで[▶](曲選択)を選び、中央を押す。
曲選択の画面が表示される。



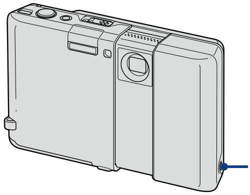
③ コントロールボタンで再生したい曲を選び、中央を押す。

メニューのその他のオプションについて

下記の機能を使うことができます。
これらの機能の設定については、各参照ページをご覧ください。

項目	設定	参照ページ
BASS(MEGA BASS)	**OFF**(オフ)/BASS 1(レベル1)/BASS 2(レベル2)	71
(リピート)	**OFF**(切)/(リピート)/1(1曲リピート)/SHUF(シャッフルリピート)	71
AVLS(AVLS)	**OFF**(オフ)/**ON**(オン)	63
(LCD自動オフ)	(切)/(入)	71

ヘッドホン(別売)を使うには



本機はステレオヘッドホン端子を搭載しており、ステレオミニジャックのヘッドホンに対応しています。
ホーム画面で[AVLS]を[入]にすると、音モレや耳への圧迫感軽減のため、一定以上に音量が上がらないように設定できます(63ページ)。

- データによっては再生できないものがあります。

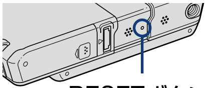
故障かな？と思ったら

困ったときは、下記の流れに従ってください。

❶ **107 ～ 117ページの項目をチェックし、本機を点検する。**
画面に「C/ E：□□：□□」のような表示が出たときは、118ページをご覧ください。

❷ **バッテリーを取りはずし、約1分後再びバッテリーを入れ、本機の電源を入れる。**

❸ **底面にあるRESETボタンを先の細いもので押してから、電源を入れる。**
この操作を行うと、日時設定は解除されます。



❹ **サイバーショットオフィシャルWEBサイトで確認する。**
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

❺ **テクニカルインフォメーションセンターに電話で問い合わせる。**

- **内蔵メモリーやBGM機能を搭載した機種を修理に出した場合、それらの内容を確認させていただく場合があります。あらかじめご了承ください。**

以下の項目をクリックすると、項目別の症状と原因/処置にジャンプします。

バッテリー・電源

本機にバッテリーを入れられない。

- バッテリー取りはずしつまみを押しながら、正しい向きに入れる。

電源が入らない。

- バッテリーが正しく取り付けられているか確認する。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける。
- バッテリーの寿命です（124ページ）。新しいバッテリーと交換する。
- 推奨バッテリーをお使いください。
- レンズカバーが開ききっていない。「カチッ」というまで開く。

電源が切れる

- 操作しない状態が3分以上続くと、バッテリーの消耗を防ぐため、自動的に電源が切れる。電源を入れ直す。
- バッテリーの寿命です（124ページ）。新しいバッテリーと交換する。

バッテリーの残量表示が正しくない。

- 温度が極端に高いまたは低いところで使用しているときの現象です。
- 残量表示と実際の残量にズレが生じています。バッテリーを一度使い切ってから充電すると正しい表示に戻ります。
- バッテリーが消耗しています。充電されたバッテリーを取り付ける。
- バッテリーの寿命です（124ページ）。新しいバッテリーと交換する。

静止画/動画を撮る

撮影できない。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”の空き容量を確認する。いっぱいのときは、下記のいずれかを行う。
  – 不要な画像を削除する（23ページ）。
  – “メモリースティック デュオ”を交換する。
- アルバム画像を内蔵メモリーに記録するため、空き容量がある“メモリースティック デュオ”を使っても、内蔵メモリーの容量がない場合は撮影できません。内蔵メモリーの不要な画像を削除する（23ページ）。
- “メモリースティック デュオ”の誤消去防止スイッチを解除する（122ページ）。
- フラッシュ充電中は撮影できません。
- 静止画/動画撮影の設定が正しくできていない。/（動画/静止画）切り換えボタンでモード設定する。

手ぶれ補正が効かない。

- 液晶画面に" "が表示されていると、手ぶれ補正は効いていません。
- 暗所では、手ぶれ補正が効きにくくなります。
- シャッターを半押ししてから撮影してください。

撮影に時間がかかる。

- NRスローシャッター機能が働いている（13ページ）。故障ではありません。

ピント（フォーカス）が合わない。

- 被写体が近すぎるためです。（マクロ撮影）モードにし、最短撮影距離（W側約8cm、T側約25cm）より離して撮影する。または、（拡大鏡モード撮影）にして、被写体までの距離を約1cmから20cm離してピントを合わせてください（20ページ）。
- 静止画撮影時、（拡大鏡モード撮影）、またはシーンセレクションの（手持ち夜景モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（打ち上げ花火モード）が選ばれていると、ピントが合わない場合があります。
- フォーカスプリセットになっているときは、オートフォーカスに戻す（35ページ）。
- 「ピントが合わないときは」（36ページ）をご覧ください。

ズームできない。

- （拡大鏡モード撮影）時、光学ズームが使えません。

フラッシュ撮影ができない。

- フラッシュの設定が（フラッシュ発光禁止）になっている（20ページ）。
- 以下のときは、フラッシュ撮影できません。
  - 連写またはブラケット撮影しているとき（40ページ）
  - シーンセレクションの（高感度モード）、（手持ち夜景モード）、（夜景モード）、（打ち上げ花火モード）が選ばれているとき（33ページ）
  - 動画撮影時
- （拡大鏡モード撮影）、またはシーンセレクションの（風景モード）、（高速シャッターモード）、（ビーチモード）、（スノーモード）が選ばれているときは、（フラッシュ強制発光）にする（20ページ）。

フラッシュ撮影した画像に、ぼんやりとした丸い斑点が写っている。

- 空気中のホコリがフラッシュの強い光に反射して写りこんだためです。故障ではありません。

近接撮影（マクロ撮影/拡大鏡モード撮影）ができない。

- シーンセレクションの（手持ち夜景モード）、（夜景モード）、（風景モード）、（打ち上げ花火モード）が選ばれているときは、近接撮影（マクロ撮影/拡大鏡モード撮影）できません（32ページ）。

撮影日時が液晶画面に表示されない。

- 撮影時には、日付は表示されません。再生時のみ表示されます。

撮影日時を画像に挿入できない。

- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありません（115ページ）。

シャッターを半押しするとF値、シャッタースピードが点滅する。

- 露出が合っていません。露出補正する（34ページ）。

液晶画面が明るすぎる/暗すぎる。

- LCDバックライトの明るさを調整する（16、64ページ）。

画像が暗い。

- 逆光になっています。測光モード選択（37ページ）または露出補正（34ページ）をする。

画像が明るい。

- 露出補正する（34ページ）。

明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。

- スミアという現象です。故障ではありません。

暗い場所で画面を見ると画像にノイズが目立つ。

- 暗い場所でも確認できるように、画面を一時的に明るくする機能が働いています。撮影される画像には影響ありません。

被写体の目が赤く写る。

- 赤目軽減モードにする（69ページ）。
- 被写体に近づいてフラッシュ撮影距離内で撮影する。
- 室内を明るくして撮影する。

画面に点が現れて消えない。

- 故障ではありません。これらの点は記録されません（2ページ）。

連写できない。

- 内蔵メモリーまたは"メモリースティック デュオ"の容量がいっぱいです。不要な画像を削除する（23ページ）。
- バッテリーの残量が足りない。充電されたバッテリーを取り付ける。
- 拡大鏡モードのときは、連写できません。

画像を見る

再生できない。

- Mass Storage接続でパソコンから本機に画像をコピーしたため、アルバム画像が存在していない。[画像読み込み]（61ページ）を行う。
- パソコンでフォルダ/ファイルの名前を変更したためです。[画像読み込み]（61ページ）を行ってください。
- パソコンで画像を加工したファイルや、本機以外で撮影した画像は本機での再生は保証いたしません。
- USBモードになっています。USB接続を終了する（88ページ）。

撮影日時が表示されない。

- 撮影情報が出ない設定になっています。DISP（画面表示切り換え）ボタンで表示を切り換える（16ページ）。

表示直後に再生画像が粗い。

- 画像処理のため、表示直後は画像が粗くなります。故障ではありません。

USB接続したとき、画面に画像が出ない。

- USBケーブルをはずす（89ページ）。

テレビに画像が出ない。

- [ビデオ信号出力]が[NTSC]になっているか確認する（66ページ）。
- 接続が正しいか確認する（75ページ）。

画像を削除する/編集する

削除できない。

- 画像のプロテクトを解除する（48ページ）。
- 誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除してください（122ページ）。

誤って消してしまった。

- 一度削除した画像は元に戻せません。画像にプロテクトをかける（48ページ）か、誤消去防止スイッチのある“メモリースティック デュオ”を使用し、スイッチを「LOCK」にする（122ページ）と誤消去を防げます。

リサイズができない。

- 動画はリサイズできません。

ネットワーク

ワイヤレスLANアクセスポイントとの接続ができない。

- ワイヤレスLANアクセスポイントの電源が入っているか確認してください。
- 本機とワイヤレスLANアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなることがあります。本機の場所を移動するか、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器との距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。
- 接続の方法について詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントの取り扱い説明書をご覧ください。

コラボショットやピクチャーギフトで、画像の交換ができない。

- 機器間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、通信可能距離が短くなることがあります。場所を移動するか、機器間の距離を近づけてください。
- 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器との距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。

画像の転送に時間がかかる。

- 機器間または、本機とワイヤレスLANアクセスポイント間の障害物や電波状況、壁の材質など周囲の環境によって、画像の転送に時間がかかることがあります。機器の場所を移動するか、機器間または、本機とアクセスポイント間の距離を近づけてください。
- 他のワイヤレスLANアクセスポイントと混信している可能性があります。ワイヤレスLANアクセスポイントで無線チャンネルの設定をして下さい。詳しくは、ワイヤレスLANアクセスポイントの取り扱い説明書をご覧ください。
- 電子レンジやBluetoothなど、2.4GHz帯の周波数を使用する機器を周辺で使用している可能性があります。それらの機器と本機の距離を離すか、またはそれらの機器の電源を切ってください。

ホットスポット(公衆ワイヤレスLANアクセスポイント)サービスに接続できない。

- 本機はホットスポット(公衆ワイヤレスLANアクセスポイント)サービスへの接続には対応しておりません。

パソコン

パソコンとの接続方法や最新サポート情報は下記のホームページをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

対応しているOSがわからない。

- 「パソコンの推奨環境」を確認する（77ページ）。

“メモリースティック”スロット付きパソコンで“メモリースティック PRO デュオ”が認識されない。

- パソコンおよびリーダーライターが“メモリースティック PRO デュオ”に対応しているかご確認ください。ソニーバイオをお使いの場合、サイバーショットのサポートページをご覧いただきますと、対応の有無が確認できます（77ページ）。ソニー製以外のパソコンおよびリーダーライターをお使いの場合は、各メーカーにお問い合わせください。
- “メモリースティック PRO デュオ”非対応の場合は、本機をパソコンにつないでください（89ページ）。パソコンが“メモリースティック PRO デュオ”を認識します。

本機がパソコンに認識されない。

- 本機の電源が入っているか確認する。
- CONNECTボタンを押す（89ページ）。
- [USB接続]を[Mass Storage]にする（65ページ）。
- 接続には、USBケーブル（付属）を使う（89ページ）。
- 一度パソコンとサイバーショットステーションからUSBケーブルを抜いて再びしっかりと差し込む。
- パソコンのUSB端子に、本機/キーボード/マウス以外の機器が接続されているときは、取りはずす。
- USBハブ経由などでなく、本機とパソコンを直接接続する（89ページ）。

画像をコピーできない。

- 本機とパソコンを正しくUSB接続する（89ページ）。
- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影した場合、画像をパソコンへコピーできないことがあります。本機でフォーマットした“メモリースティック デュオ”で撮影する（59ページ）。

画像を再生できない。

- 「Album Editor」または「Picture Motion Browser」をお使いの場合は、ヘルプをご覧ください。
- 本機で撮影された動画ファイル（MPEG-4）の再生には、「Picture Motion Browser」が必要です。

動画を再生すると画像や音が途切れる。

- 内蔵メモリーまたは“メモリースティック デュオ”から直接再生すると、画像や音が途切れます。パソコンのハードディスクに動画をコピーして、ハードディスクのファイルを再生する(89ページ)。

画像をプリントできない。

- プリンターの取扱説明書をご覧ください。

パソコンからコピーした画像ファイルが本機で見られない。

- 101MSDCFなど本機で認識するフォルダにコピーする(90ページ)。
- 正しい手順で操作する(89ページ)。

Album Editor

「Album Editor」で取り込んだ画像が見つからない。

- 「マイピクチャ」フォルダをご覧ください。

パソコンから本機へ画像を書き出せない。

- パソコンから本機への画像の書き出しは、フォルダ単位です。画像ごとに書き出したり、すでに本機にあるアルバム内に画像を追加したりできません。
- 拡張子が「.jpg」、「.jpeg」、「.mp4」以外のファイルは、書き出せません。

エラーが出てアルバムが表示されない。

- 本機とパソコンを接続したときに本機のデータに異常がある場合は、エラーメッセージが表示されます。本機とパソコンの接続を解除して、本機で画像が正常に再生できるかご確認ください。それでもうまく表示されない場合は、リストアしてください。リストアを行うと、バックアップした時点よりも後に撮影した画像などは失われます。

リストアできない。

- バックアップしたファイルがない場合は、リストアできない。定期的にバックアップすることをおすすめします。
- リストアできない場合は、本機の内蔵メモリーをフォーマットしてからリストアしてください。フォーマットを行うと、本機のデータは消去されます。

Picture Motion Browser

「Picture Motion Browser」で画像が正しく表示されない。

- 表示したい画像があるフォルダが「閲覧フォルダ」に登録されていることを確認する。フォルダが「閲覧フォルダ」に登録されていても画像が表示されない場合、データベースを更新してください（86ページ）。

取り込んだ画像が、すべてカレンダー上で1月1日に表示される。

- 本機の日付が設定されていません。日付を設定してください（67ページ）。

「×」が表示される。

- ［ツール］メニューから［データベースを最新の情報に更新］を選び、実行する（86ページ）。

"メモリースティック デュオ"

本機に入らない。

- 正しい向きで入れる。

フォーマットできない。

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除する（122ページ）。

誤ってフォーマットしてしまった。

- "メモリースティック デュオ"内のデータはすべて消去され、元に戻せません。誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチを「LOCK」にする（122ページ）と誤フォーマットを防げます。

USB接続したとき、リムーバブルディスクとして"メモリースティック デュオ"が認識されない。

- お使いのUSB接続機器によっては、内蔵メモリーのみを認識する場合があります。必要な画像を内蔵メモリーにインポートするか、パソコンを使って内蔵メモリーにコピーしてから接続する。

内蔵メモリー

内蔵メモリー内のデータを"メモリースティック デュオ"にコピーできない。

- "メモリースティック デュオ"の空き容量がない。空き容量を確認する。

内蔵メモリーのデータに異常がある。

- バックアップしておいたデータでリストアしてください（82ページ）。ただし、バックアップ以降のデータは消去されます。

プリントする

次の「PictBridge対応プリンター」も合わせてご覧ください。

両端が切れてプリントされる。

- プリンターによっては、画像の上下左右が切れることがあります。特に画像が[16：9]のときは、左右が大きく切れることがあります。
- お手持ちのプリンターでプリントする場合は、あらかじめトリミングやふちなし印刷機能を解除しておいてください。機能の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントする場合は、画像の両端が切れないようにプリントできるかどうか、あらかじめお店にお問い合わせください。

日付を入れて印刷できない。

- 「Picture Motion Browser」を使って印刷すると日付が挿入できます。
- 本機には画像に日付を挿入できる機能はありませんが、画像には日付情報が記録されています。お使いのプリンターやソフトウェアがExif情報を認識できれば日付を入れて印刷できます。対応の有無は、各メーカーにお問い合わせください。
- お店でプリントするときは、日付挿入を希望すれば、日付を入れて印刷できます。

PictBridge対応プリンター

プリンターと接続できない。

- 本機は、PictBridge非対応プリンターには直接接続できません。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターの電源が入り、接続可能な状態になっていることを確認する。
- [USB接続]を[PictBridge]にする（65ページ）。
- USBケーブルを抜いて、接続し直す。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

プリントできない。

- 本機とプリンターがUSBケーブルで正しく接続されているか確認する。
- プリンターの電源が入っているか確認する。詳しくはプリンターの取扱説明書をご覧ください。
- プリント中に「終了」を選ぶと、再びプリントできない場合があります。USBケーブルを抜いて、接続し直す。それでも復帰しないときは、USBケーブルをもう一度抜き、プリンターの電源を入れ直してから接続し直す。
- 動画はプリントできません。
- 本機以外で撮影した静止画、またはパソコンで加工した画像はプリントできない場合があります。

プリントが中断される。

- （PictBridge接続中）マークが消える前に、USBケーブルを抜いた。

日付挿入/インデックスプリントができない。

- プリンターが日付挿入/インデックスプリントに対応してない。対応の有無は、プリンターのメーカーにお問い合わせください。
- プリンターによっては、インデックスプリントでは日付が挿入されない場合があります。プリンターのメーカーにお問い合わせください。

日付部分に「---- -- --」などが印刷される。

- 画像ファイルに印刷可能な撮影日時情報が入っていない。[日付]を[切]にしてプリントしてください（102ページ）。

プリントしたい用紙サイズが選択できない。

- プリンターがプリントしたい用紙サイズに対応しているか、プリンターのメーカーにお問い合わせください。

プリンターの用紙サイズどおりに印刷できない。

- 本機とプリンターを接続したあとにプリンターの用紙を別のサイズの用紙と取り換えた場合は、一度USBケーブルを抜いてプリンターを接続し直してください。
- 本機での印刷設定と、プリンターの設定が合っていない。本機の用紙サイズ設定を変更する（102ページ）か、プリンターの用紙設定を変更する。

印刷を中止すると、他の操作ができない。

- プリンターが印刷中止の処理をしているので、しばらくお待ちください。プリンターによっては時間がかかることがあります。

その他

音楽が再生できない。

- 長い名前のファイルやフォルダを設置すると、曲表示できない場合があります。

音量が大きくならない。

- [AVLS]が[入]になっている。[切]にする（63ページ）。

レンズがくもる。

- 結露している。電源を切って約1時間そのままにしてから使用する。

長時間使用すると、本機が熱くなる。

- 故障ではありません。

電源を入れると、時刻設定画面が表示される。

- 時刻を設定し直す（67ページ）。

日付/時刻を変更したい。

- 日付/時刻を設定し直す（67ページ）。

自己診断表示と警告表示

自己診断表示

画面にアルファベットで始まる表示が出たら、本機の自己診断機能が働いています。表示の末尾2桁(□□)の数字は、本機の状態によって変わります。
下記の対処を2、3度繰り返しても正常な状態に戻らないときは、修理が必要な場合があるのでテクニカルインフォメーションセンターにご相談ください。

C:32:□□

- ハードウェアの異常。電源を入れ直す。

C:13:□□

- データが読めない/書けない。電源を入れ直すか"メモリースティック デュオ"を数回抜き差しする。
- 内蔵メモリーがフォーマットエラーのままである。または、フォーマットしていない"メモリースティック デュオ"を入れた。フォーマットする(59、61ページ)。
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"を入れた。またはデータが壊れている。"メモリースティック デュオ"を交換する。

E:61:□□

E:62:□□

E:91:□□

- 何らかの異常が起きている。RESETボタンを押して(106ページ)、電源を入れる。

警告表示

画面には、次のような表示が出ることがあります。



- バッテリーの残量が少ない。すぐにバッテリーを充電する。ご使用状況やバッテリーの種類によっては、バッテリー残量が5分から10分でも点滅することがあります。

"インフォリチウム"バッテリーを使ってください

- "インフォリチウム"対応以外のバッテリーを使っている。

システムエラー

- 電源を入れ直す。

アルバムデータエラー

- アルバムチェック(58ページ)をする。

内蔵メモリーエラー

- 電源を入れ直す。

メモリースティックを入れ直してください

- "メモリースティック デュオ"を入れ直す。
- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っている(122ページ)。
- "メモリースティック デュオ"が壊れている。
- "メモリースティック デュオ"端子が汚れている。

非対応のメモリースティックです

- 本機では使えない"メモリースティック デュオ"が入っている(122ページ)。

内蔵メモリーフォーマットエラー

メモリースティックフォーマットエラー

- フォーマットし直す（59、61ページ）。

メモリースティックがロックされています

- 誤消去防止スイッチのある"メモリースティック デュオ"を使用し、スイッチが「LOCK」になっている。解除する（122ページ）。

内蔵メモリーの残量がありません
メモリースティックの残量がありません

- 不要な画像やデータを消去する（23ページ）。

内蔵メモリーにアルバム画像を記録する残量がありません

- 内蔵メモリー内の不要なデータを消去する。"メモリースティック デュオ"に記録していても、本機はアルバム画像を内蔵メモリーに記録しているためです。

読み出し専用のメモリースティックです

- この"メモリースティック デュオ"への画像記録や消去はできません。

画像がありません

- 内蔵メモリー内に再生可能な画像が記録されていない。

フォルダエラー

- 上3桁の番号が同じフォルダが"メモリースティック デュオ"内にある（例：123MSDCFと123ABCDE）。別のフォルダを選択するか、フォルダを作成する（59、60ページ）。

これ以上フォルダ作成できません

- 上3桁の番号が「999」のフォルダが"メモリースティック デュオ"内にある。本機でこれ以上のフォルダを作成できません。

記録できません

- 本機で記録フォルダに設定できないフォルダを選択した。他のフォルダを選択する（60ページ）。

ファイルエラー

- 画像再生時、音楽再生時に異常が発生した。

ファイルがプロテクトされています

- プロテクトを解除する（49ページ）。

画像サイズオーバーです

- 本機で再生できないサイズの画像を再生しようとしている。

無効な操作です

- 本機に対応していないファイルを再生したり編集しようとしている。

（手ぶれ警告表示）

- 光量不足のため、手ぶれが起こりやすい状況になっているので、フラッシュを使用したり、手ぶれ補正をオンにする。または、三脚などで本機をしっかりと固定する。

接続先を確認してください

- 本機の設定が[PictBridge]になっているのに、PictBridgeに対応していない機器と接続している。接続している機器を確認する。
- 接続が確立できない。USBケーブルを抜いて、接続し直す。プリンターにエラー表示が出ている場合は、プリンターの取扱説明書をご覧ください。

PictBridge機器と接続してください

- プリンターと接続する前にプリントしようとした。PictBridge対応のプリンターと接続する。

プリントできる画像がありません

- 動画しか入っていないフォルダを選んでプリントしようとした。動画はプリントできません。

プリンタービジー

用紙エラー

用紙がなくなりました

インクエラー

インクが少なくなりました

インクがなくなりました

- プリンターを確認する。

プリンターエラー

- プリンターを確認する。
- プリントしたい画像が壊れていないか確認する。



- 接続しているプリンターへのデータ転送が完了していない可能性がある。USBケーブルを抜かないでください。

処理中

- プリンターが印刷中止処理を行っている。処理が完了するまでは印刷できません。プリンターによっては処理に時間がかかることがあります。

3台以上の同時押しは無効です

- 3台目を接続するときは、先に2台間で同時押しをして、2台間で接続してから、行ってください（91ページ）。

アクセスポイントが見つかりませんでした

アクセスポイントに接続できませんでした

- アクセスポイントを確認し、再接続する。

ネットワーク接続が切断されました

- ネットワーク障害が起きた。再接続する。

画像がありません

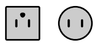
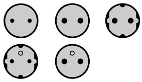
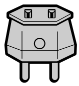
- [絞り込み]の条件に合う画像がない。

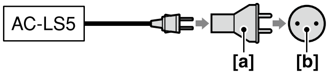
類似画像がありません

- 似ている画像は検出されなかった。

海外で使うときは

ACアダプター AC-LS5（付属）は全世界（AC100V ～ 240V · 50/60Hz）で使えます。ただし、地域によっては壁のコンセントに差し込むための変換プラグアダプターが必要になる場合があります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。

コンセントの形状例	 主に北米	 主にヨーロッパなど
変換プラグアダプター	不要	

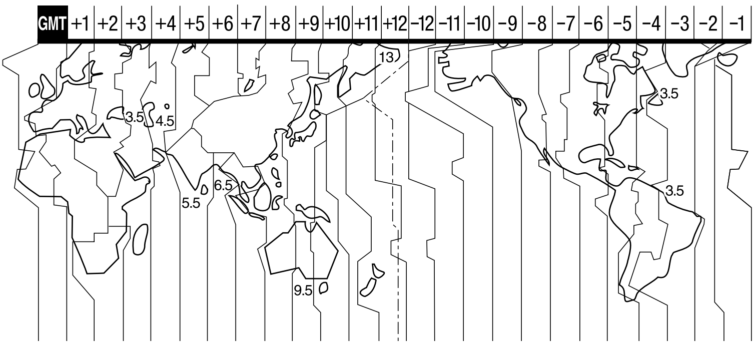


- 変換プラグアダプター [a]/電源コンセント[b]の形状は国や地域によって異なります。あらかじめ旅行代理店などでおたずねの上、ご用意ください。
- **電子式変圧器（トラベルコンバーター）は故障の原因となるので使わないでください。**

現地の時間に合わせるには

海外で使うときは、ホーム画面の[ ]（設定）→[時計設定]の[エリア]と[サマータイム]を設定するだけで、時刻を現地時間に合わせることができます（67ページ）。

世界時刻表



“メモリースティック”について

“メモリースティック”は、小さくて軽いIC記録メディアです。“メモリースティック”のうち、本機で使えるのは下表のとおりです。ただし、すべての“メモリースティック”の動作を保証するものではありません。

“メモリースティック”の種類	記録・再生
メモリースティック（マジックゲート非対応）	–
メモリースティック（マジックゲート対応）	–
メモリースティック デュオ（マジックゲート非対応）	○
メモリースティック デュオ（マジックゲート対応）	○*1*2
マジックゲート メモリースティック	–
マジックゲート メモリースティック デュオ	○*1
メモリースティック PRO	–
メモリースティック PRO デュオ	○*1*2

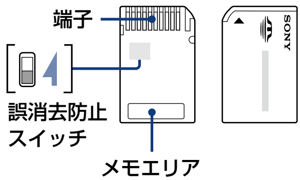
*1 マジックゲート搭載の“メモリースティック デュオ”です。“マジックゲート”とは暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機ではマジックゲート機能が必要なデータの記録/再生はできません。

*2 パラレルインターフェースを利用した高速データ転送に対応しております。

- パソコンでフォーマットした“メモリースティック デュオ”は、本機での動作を保証しません。
- お使いの“メモリースティック デュオ”と機器の組み合わせによっては、データの読み込み/書き込み速度が異なります。

“メモリースティック デュオ”（別売）使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを先の細いものでスライドさせて「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。



誤消去防止スイッチの有無や位置、形状は、お使いの“メモリースティック デュオ”によって異なることがあります。

- データの読み込み中、書き込み中には“メモリースティック デュオ”を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊されることがあります。
  - 読み込み中、書き込み中に“メモリースティック デュオ”を取り出したり、本機の電源を切った場合
  - 静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。
- メモエリアに書き込むときは、あまり強い圧力をかけないでください。
- “メモリースティック デュオ”本体およびメモリースティック デュオ アダプターにラベルなどを貼らないでください。
- 持ち運びや保管の際は、付属の収納ケースに入れてください。
- 端子部には手や金属で触れないでください。
- 強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 分解したり、改造したりしないでください。
- 水にぬらさないでください。

- 小さいお子さまの手の届くところに置かないようにしてください。誤って飲み込むおそれがあります。
- 以下のような場所でのご使用や保管は避けてください。
  - 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所
  - 直射日光のあたる場所
  - 湿気の多い場所や腐食性のものがある場所

メモリースティック デュオアダプター（別売）使用上のご注意

- “メモリースティック デュオ”を“メモリースティック”対応機器でお使いの場合は、必ず“メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れてからお使いください。アダプターに装着されていない状態で挿入されますと“メモリースティック デュオ”が取り出せなくなる可能性があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに入れるときは正しい挿入方向をご確認のうえ、奥まで差し込んでください。差し込みかたが不充分だと正常に動作しない場合があります。
- “メモリースティック デュオ”をメモリースティック デュオ アダプターに装着して“メモリースティック”対応機器でご使用になるときは、正しい挿入方向を確認のうえお使いください。間違ったご使用は機器の破損の原因となりますのでご注意ください。
- メモリースティック デュオ アダプターに“メモリースティック デュオ”が装着されていない状態で、“メモリースティック”対応機器に挿入しないでください。このような使いかたをすると、機器に不具合が生じることがあります。

“メモリースティック PRO デュオ”（別売）使用上のご注意

- 本機で動作確認されている“メモリースティック PRO デュオ”は8GBまでです。

使用可能な“メモリースティック”についての最新情報は、ホームページ上の「メモリースティック対応表」をご確認ください（最終ページ）。

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

InfoLITHIUM（インフォリチウム）バッテリーについて

本機は"インフォリチウム"バッテリー（Rタイプ）のみ使用できます。

"インフォリチウム"バッテリーは、本機との間で、使用状況に関するデータを通信する機能を持っているリチウムイオンバッテリーです。
"インフォリチウム"バッテリーが、本機の使用状況に応じた消費電力を計算してバッテリー残量を分単位で表示します。

充電について

周囲の温度が10℃～30℃の環境で充電してください。これ以外では、効率のよい充電ができないことがあります。

バッテリーの上手な使いかた

- 周囲の温度が低いとバッテリーの性能が低下するため、使用できる時間が短くなります。より長い時間ご使用いただくために、バッテリーをポケットなどに入れて温かくしておき、撮影の直前、本機に取り付けることをおすすめします。
- フラッシュ撮影、ズーム撮影などを頻繁にすると、バッテリーの消費が早くなります。
- 撮影には予定撮影時間の2～3倍の予備バッテリーを準備して、事前に試し撮りをしてください。
- バッテリーは防水構造ではありません。水などにぬらさないようにご注意ください。
- 高温になった車の中や炎天下などの気温の高い場所に放置しないでください。

バッテリーの残量表示について

バッテリーの残量表示が充分なのに電源がすぐ切れる場合は、本機で使い切ってから再び満充電してください。残量が正しく表示されます。ただし長時間高温で使用したり、満充電で放置した場合や、使用回数が多いバッテリーは正しい表示に戻らない場合があります。

バッテリーの保管方法について

- バッテリーを長時間使用しない場合でも、機能を維持するために、1年に1回程度満充電にして本機で使い切り、その後本機からバッテリーを取りはずして、湿度の低い涼しい場所で保管してください。
- 本機でバッテリーを使い切るには、スライドショー（43ページ）を再生して、電源が切れるまでそのままにしてください。
- 本機から取り出したバッテリーは、接点汚れ、ショート等を防止するため、携帯、保管時は必ず付属のバッテリーケースをご使用ください。

バッテリーの寿命について

- バッテリーには寿命があります。使用回数を重ねたり、時間が経過するにつれバッテリーの容量は少しずつ低下します。使用できる時間が大幅に短くなった場合は、寿命と思われますので新しいものをお買い上げください。
- 寿命は、保管方法、使用状況や環境、バッテリーごとに異なります。

ワイヤレスLANご使用時におけるセキュリティについて

ワイヤレスLANでは、LANケーブルを使用するかわりに、電波を利用して他の機器とワイヤレスLANアクセスポイント間で情報のやりとりをおこないます。

そのため、電波の届く範囲であれば、自由にLAN接続できるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁等)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定をおこなっていない場合は以下のような問題が発生する恐れがあります。

・通信内容を見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受してIDやパスワードなどの通信情報を盗み見る恐れがあります。

・不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断でネットワークへアクセスし、以下のような行為をする恐れがあります。

– 個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)
– 特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を流す(なりすまし)
– 傍受した通信内容を書き終えて発信する(改ざん)

本来、本機のワイヤレスLANやワイヤレスLANアクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティ機能を持っています。72ページの設定をおこなって、本機を使用することでその問題が発生する恐れは少なくなります。

しかしワイヤレスLAN機器は、お買いあげ時の設定ではセキュリティに関する設定がされていません。

したがって、セキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、ワイヤレスLANカードやワイヤレスLANアクセスポイントをご使用になる前に、ワイヤレスLAN機器のセキュリティに関するすべての設定を、お客様の責任においておこなってください。

なお、ワイヤレスLANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ることをご理解のうえ、ワイヤレスLAN機器をお使いください。

セキュリティの設定などについて、お客様ご自身での対応が難しい場合はテクニカルインフォメーションセンターまでお問い合わせください。

当社では、お客様ご自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定をおこない、本機をご使用されることを強くおすすめします。

用語の解説

アクセスポイント(72ページ)
無線(ワイヤレスLAN)を利用して機器をネットワークと接続させる際に、基地局となる装置のこと。

インストール(78ページ)
ソフトウェアなどをコンピューターにコピーして組み込み、使用できる状態にすること。

"インフォリチウム"バッテリー(124ページ)
"インフォリチウム"対応機器とバッテリーの使用状況に関し、データ通信できるバッテリー。

オートパワーオフ機能
電源を入れたまま約3分間操作をしないと、バッテリーの消耗を防ぐため、本機の電源が自動的に切れる機能。

拡張子
ファイルの種類を表す3～4文字の英数字のこと。ファイル名の末尾にピリオドで区切られた一番右側の部分。

画素
画像を構成する最小単位。画素数が多いほど画像サイズが大きくなり、画像の解像度が高くなる。

画像サイズ(22、68ページ)
画素数を横×縦で表示したサイズ。画像サイズが大きいと、画素数が多くなり画像の解像度が高くなる。

光学ズーム(68ページ)
レンズの焦点距離を変化させることにより撮影倍率を変化させる方式。レンズが移動することによって拡大・縮小するため、画質の劣化はない。

シャッタースピード
撮影時にCCDに光を当てる時間のこと。シャッタースピードを速くすると動きのある被写体も止まって写り、遅くすると流れて写る。

デジタルズーム(68ページ)
画像をデジタル処理することにより、画像サイズの設定に関係なく常に最大で光学ズーム倍率の2倍のズームが可能。

ドライバー(78ページ)
どのような周辺機器がどのように接続されているかをコンピューター側に知らせ、周辺機器を正しく動かすために必要なソフトウェアのこと。

ノイズ(13ページ)
CCDが光を受け取り信号として出力するまでの過程で発生する画像のざらつきのこと。

半押し(19ページ)
シャッターボタンを押し込まず、半分押した状態にしておくこと。シャッターボタンを半押しすると、撮影状況に合わせてピントと露出を自動で調整する。

ピント（19ページ）
被写体に対する焦点のこと。本機はピントを自動調整する。撮影距離を手動でも設定できる。

フォーマット（59、61ページ）
「初期化」ともいい、記録メディアにデータを書き込めるようにすること。フォーマットすると、記録メディアに保存されているデータはすべて消える。

フォルダ（59、60ページ）
本機で撮影した画像をまとめて格納する場所。目的別（イベント別）・日付別に画像を分類するときに便利。

ホワイトバランス（38ページ）
光源に合わせて色を調整する機能。被写体の見た目の色は光の状況に影響される。例えば、電球の下で撮影すると白い被写体が赤っぽく写る。ホワイトバランスを設定すると、自然な色合いで撮影できる。

"メモリースティック"（122ページ）
"メモリースティック"は小さくて軽いIC記録メディア。本機には、通常の"メモリースティック"より小型の"メモリースティック デュオ"を使用する。

有効画素数
CCDが光から電気信号に変換できる画素数。有効画素数から画像処理をしたものが記録画素数になる。

露出（34ページ）
絞りとシャッタースピードの値により決まる光量。

ワイヤレスLAN（91ページ）
IEEE802.11b/g規格及びWi-Fi標準に準拠した、無線通信でデータの送受信をするLAN（Local Area Network）のこと。

AE
「Auto Exposure」の略で、被写体の明るさをカメラが判断して、自動で露出を決める機能。

AF（35ページ）
「Auto Focus」の略で、カメラが自動でピントを合わせる機能。

CCD
「Charge Coupled Device」の略で、光を電気信号に変換する半導体の一種。

DCF
「Design rule for Camera File system」の略で、（社）電子情報技術産業協会（JEITA）で制定された統一規格。

DLNA
「デジタル・リビング・ネットワーク・アライアンス(Digital Living Network Alliance)」の略で、パソコン業界と家電業界の企業により、ホームネットワーク環境でデジタルAV機器同士や、パソコンを相互に接続することを目的として結成した団体のことです。DLNAガイドラインは、静止画や音楽、動画のファイルフォーマットなどを既定し、これらのコンテンツを家庭内のどこからでもアクセスできるようにするための技術ガイドラインです。

EV(34ページ)
「Exposure Value」の略で、露光量を表す単位。

Exif
(社)電子情報技術産業協会(JEITA)が制定した撮影情報などの付帯情報を追加できる静止画像用のファイルフォーマット。

ISO感度(推奨露光指数)(39ページ)
「イソ」と読み、光を受け取る撮像素子を含めた記録側の感度値です。数値が大きいほど高感度に撮影できる。

JPEG(90ページ)
「ジェイペグ」と読み、インターネットで扱う代表的なカラーの静止画を圧縮する形式。本機では、通常の静止画撮影時、JPEG形式で画像を保存する。

Mass Storage(65ページ)
"メモリースティック"が入ったデジタルカメラ自体を、外付けの記憶装置として認識し、USB接続したパソコンから操作可能なモード。

MP3(103ページ)
「エムピースリー」と読みます。
「MPEG-1 Audio Layer3」の略で、ISO(国際標準化機構)のワーキンググループであるMPEGで定めた音声圧縮の規格です。
音声データをCDの約1/10に圧縮できます。符号化アルゴリズムが公開されているので、さまざまなエンコーダ/デコーダが存在します。無償で使用できるフリーウェアの存在もあって、コンピュータの世界で広く普及しています。

MPEG-4(77ページ)
「エムペグフォー」と読みます。画像/音声データの圧縮形式のひとつで、高画質、高音質を維持したままファイルのサイズを小さくすることが可能です。本機では、動画撮影時にMPEG-4で圧縮して、MP4ファイル形式で保存します。

OS(77ページ)
「Operating System」の略。コンピューター全体を管理し、コンピューターを操作するのに必要な基本ソフトウェアのこと。

PictBridge（101ページ）
「ピクトブリッジ」と読み、カメラ映像機器工業会（CIPA）で制定された統一規格。PictBridge対応のプリンターと本機を接続して、画像ファイルをプリントできる。

USB（65、89、101ページ）
「Universal Serial Bus」の略。キーボードやマウスなどのパソコンの周辺機器を接続するための規格。

VGA（22ページ）
「Video Graphics Array」の略。640×480の画像サイズのこと。

索引

アルファベット順

■困ったときは（サポートのご案内）

サイバーショットおよび付属ソフトウェアの最新サポート情報（製品に関するQ&A、パソコンとの接続方法など）はこちらのホームページから
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/support/

サイバーショットオフィシャルWEBサイト
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/

サイバーショットの最新情報、撮影テクニック、アクセサリーなどに関する情報を掲載しています。英語の取扱説明書のダウンロードもできます。
(English manual download service is available.)

メモリースティック対応表
使用可能な"メモリースティック"を確認できます。
http://www.sony.co.jp/mstaiou/

指定宅配便での修理品のお引取り、修理後の製品のお届けまでを一括して行います。WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-repair/

■カスタマー登録のご案内

カスタマー登録していただくと、安心・便利な各種サポートが受けられます。
詳しくは、同梱のチラシ「カスタマー登録のご案内」もしくはご登録WEBサイトをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/di-regi/

登録後は登録者専用お問い合わせ窓口をご利用いただけます。
詳しくは下記のURLをご覧ください。
http://www.sony.co.jp/cyber-shot/contact/

ソニー株式会社　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1　http://www.sony.co.jp/